



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 本書の目的
 - 対象読者
 - 対象開発モデル
 - 本書の構成
- 3. IM-Propagation 送受信設定一覧について
- 4. IM-Propagation 送信側一覧
 - 送信側一覧の利用方法
 - 送信側一覧
- 5. IM-Propagation 受信側一覧
 - 受信側一覧の利用方法
 - 受信側一覧

変更年月日	変更内容
2014-05-16	初版
2016-04-01	第2版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「アカウント情報」に DATA_UPDATING/DATA_UPDATED 時のpasswordプロパティの扱いについて追記
2016-08-01	第3版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none"> 「Salesforce 連携」を追記
2018-04-01	第4版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none"> 「メニューアイテム」のマッピングテーブルにプロパティ icon16、icon32、icon48を追記 「IM-Propagation 送信側一覧」に「IM-共通マスタ」を追記
2018-08-01	第5版 下記を変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「ジョブネット」に記載されていた PROC_COMPLETED についての説明を、「ジョブネット (実行完了)」に移動
2019-08-01	第6版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none"> 「IM-Propagation 送信側一覧」に「IM-Knowledge」を追記
2021-12-01	第7版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none"> 「IM-Propagation 送信側一覧」に「IM-LogicDesigner」を追記 「IM-Propagation 送信側一覧」に「ViewCreator」を追記
2022-12-01	第8版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none"> 「IM-Propagation 送信側一覧」に「IM-Repository」を追記
2023-04-01	第9版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none"> 「IM-Repository」 - 「エンティティ テーブル定義情報」に「enableChangeLog」プロパティを追記
2023-10-01	第10版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none"> 「IM-Repository」 - 「エンティティ テーブル定義情報」に「externalReferenceDefinitions」プロパティを追記
2024-04-01	第11版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none"> 「IM-LogicDesigner」 - 「フロー定義情報」に「common」プロパティを追記
2025-04-01	第12版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none"> 「IM-LogicDesigner」 - 「フロー定義情報」に「mappingOrder」プロパティを追記 「IM-Repository」 - 「エンティティ テーブル定義情報」に「optimisticLockId」・「optimisticLockType」・「disableAutoNumbering」プロパティを追記
2026-04-01	第13版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none"> 「ViewCreator」 - 「データ参照定義情報」に「accessType」プロパティを追記

本書の目的

本書では intra-mart Accel Platform のうち、IM-Propagation が提供している送信側（トリガ）・受信側（リスナ）の設定について説明します。

説明範囲は以下の通りです。

- intra-mart Accel Platform から IM-Propagation に送られてくるデータの詳細・一覧、および、利用方法
- intra-mart Accel Platform が IM-Propagation から受け取るデータの詳細・一覧、および、利用方法

対象読者

本書では次の利用者を対象としています。

- intra-mart Accel Platform の IM-Propagation を使用したい開発者
 - intra-mart Accel Platform で提供している、データの変更や操作の完了といった通知を受け取って処理を行いたい開発者
 - intra-mart Accel Platform で提供している、特定のアプリケーションへの処理要求を送りたい開発者
- IM-Propagation の仕様を理解している方

IM-Propagation の仕様の詳細については「[IM-Propagation 仕様書](#)」を参照してください。

対象開発モデル

本書では以下の開発モデルを対象としています。

- JavaEE開発モデル

本書の構成

- [IM-Propagation 送受信設定一覧について](#)

このドキュメントで扱う内容について説明します。

- [IM-Propagation 送信側一覧](#)

intra-mart Accel Platform で提供している IM-Propagation の送信側一覧について説明します。

- [IM-Propagation 受信側一覧](#)

intra-mart Accel Platform で提供している IM-Propagation の受信側一覧について説明します。

IM-Propagation 送受信設定一覧では、intra-mart Accel Platform の基盤機能が標準で提供している IM-Propagation の送信側（トリガ）と受信側（リスナ）について、連携機能を実装する上で必要となる各種情報とその利用方法を提供しています。

具体的には、以下のような通知を受け取って処理を行う場合に必要となる情報と、その利用方法について記載しています。

- ライセンスやテナントの情報の変更
- IM-Authz（認可）に関するリソース情報やサブジェクト情報の変更
- メニュー情報の変更
- カレンダー情報の変更
- ジョブやジョブネットの変更

詳細は、「[IM-Propagation 送信側一覧](#)」を参照してください。

また、以下のような要求を intra-mart Accel Platform に対して行う機能を実装する場合に必要な情報と、その利用方法についても記載されています。

- IMBox の ApplicationBox を利用して、特定のユーザへメッセージを送信

詳細は、「[IM-Propagation 受信側一覧](#)」を参照してください。



注意

IM-Propagation の仕様の詳細については「[IM-Propagation 仕様書](#)」を参照してください。

また、IM-Propagation を利用した送受信機能の実装方法については「[IM-Propagation プログラミングガイド](#)」を参照してください。

intra-mart Accel Platform が標準で提供している送信側の一覧と、その利用方法について説明します。

項目

- 送信側一覧の利用方法
 - データの受け取り方
 - 送信側一覧の参照方法
- 送信側一覧
 - システム管理・テナント管理
 - テナント環境セットアップ
 - テナント情報
 - システム管理者
 - アカウント情報
 - アカウント付与ロール
 - アカウントライセンス
 - アプリケーションライセンス
 - テナントライセンス
 - サブロール
 - IM-Authz（認可）
 - リソースグループ
 - リソース
 - リソースグループ汎用属性
 - サブジェクトグループ
 - ポリシー
 - ポリシー（全件削除）
 - メニュー/メニューグループ
 - メニューグループ
 - メニューアイテム
 - メニューIDの変更
 - カレンダー
 - カレンダー
 - カレンダーに紐づく日付情報セット
 - 曜日情報
 - 日付情報セット
 - 日付情報
 - ジョブ/ジョブネット
 - ジョブネットカテゴリ
 - ジョブネット
 - ジョブカテゴリ
 - ジョブネット（トリガ）
 - ジョブネット（実行完了）
 - Salesforce 連携
 - Salesforce監視対象オブジェクト
 - Salesforce Streaming Client Service エラー情報
 - IM-共通マスタ
 - ユーザプロファイル
 - ユーザの組織所属情報
 - ユーザのパブリックグループ所属情報
 - IM-Knowledge
 - Wiki情報

- Wikiページ情報
- Wikiページ添付ファイル情報
- ワークブック情報
- IM-LogicDesigner
 - フロー定義情報
 - フロルーティング定義情報
 - トリガ定義情報
- ViewCreator
 - クエリ定義情報
 - データ参照定義情報
 - クエリのルーティング定義情報
- IM-Repository
 - 辞書項目情報
 - エイリアス情報
 - 列挙型情報
 - エンティティ情報
 - エンティティ 関連情報
 - エンティティ テーブル定義情報

送信側一覧の利用方法

この章では、送信側一覧を利用したデータの受け取り方と、一覧の参照方法について説明します。

データの受け取り方

データを受け取る場合の手順は、以下の通りです。

一例として、アカウント情報の変更の受け取り方を説明します。

1. 受け取りたいデータを一覧からピックアップする

始めに、「[送信側一覧](#)」から受信したいデータの項を参照して、以下の情報を取得してください。

以下に、アカウント情報の変更を受け取りたい場合の各項目値を例示します。

- 独自モデルの完全修飾子

例) `jp.co.intra_mart.foundation.admin.account.model.AccountInfo`

- データ受信のための送受信モデル

例) `jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericAccount`

- 取得したいタイミングに合致するデータの操作種別

例) `DATA_UPDATED` (アカウント情報が更新された)

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

例) 詳細は、「[アカウント情報](#)」を参照してください。

一覧項目の詳細は、「[送信側一覧の参照方法](#)」を参照してください。

2. マッピング設定を作成する

次に、一覧の情報をもとにマッピング設定を作成します。

以下に、「アカウント情報が更新されたこと」を受け取るマッピング設定を例示します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<propagation-receivers-config xmlns="http://www.intra-mart.jp/propagation/receivers-config"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://www.intra-mart.jp/propagation/receivers-config propagation-receivers-config.xsd">
  <receiver source="jp.co.intra_mart.foundation.admin.account.model.AccountInfo"
    operationType="DATA_UPDATED">
    <decoder class="jp.co.intra_mart.module_name.function_name.propagation.decoder.SampleAccountDecoder"
  />
    <procedure
class="jp.co.intra_mart.module_name.function_name.propagation.procedure.SampleAccountProcedure" />
  </receiver>
</propagation-receivers-config>
```

各タグの設定についての説明は、以下の通りです。

- **receiver** タグ

source 属性には、一覧の中で「独自モデルの完全修飾子」として定義されているクラスの完全修飾子（FQCN）を指定します。

アカウント情報の「独自モデルの完全修飾子」である

`jp.co.intra_mart.foundation.admin.account.model.AccountInfo` を指定します。

operationType 属性には、一覧の中で「データの操作種別とデータ送信のタイミング」として定義されている表から必要とするものを選択し、指定します。

アカウント情報の「更新されたこと」を受け取る場合は、データの操作種別は `DATA_UPDATED` を指定します。

- **decoder** タグ

class 属性には、「データ変換クラス」の完全修飾子（FQCN）を指定します。

詳細は「[IM-Propagation プログラミングガイド](#)」-「[データを受け取る側の実装](#)」を参照してください。

- **procedure** タグ

class 属性には、「データ処理クラス」の完全修飾子（FQCN）を指定します。

詳細は「[IM-Propagation プログラミングガイド](#)」-「[データを受け取る側の実装](#)」を参照してください。

送信側一覧の参照方法

送信側に記載されている各項目の詳細は、以下の通りです。

- 独自モデルの完全修飾子

送信する「独自モデル」の完全修飾子（FQCN）を表しており、マッピング設定で使用します。

詳細は「[IM-Propagation プログラミングガイド](#)」-「[送信するデータを格納するためのクラスを作成する](#)」を参照してください。

- データ受信のための送受信モデル

送信したデータを受信側が取得できるようにするための「送受信モデル（Generic）」の完全修飾子（FQCN）を表しています。

詳細は「[IM-Propagation プログラミングガイド](#)」-「[送受信モデル（Generic）を作成する](#)」を参照してください。

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

送信側が提供しているデータの操作種別と、送信されるタイミングの紐付けを表しており、マッピング設定で使用します。

詳細は「[IM-Propagation 仕様書](#)」-「[処理仕様](#)」を参照してください。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

項目	詳細
プロパティ	データ受信のための送受信モデルが持つプロパティ名を表しています。

項目	詳細						
参照元	送受信モデルのプロパティへ値を渡す実際の独自モデル名とメソッド名を表しています。 プロパティへ渡す値が独自モデルなどを介さない（引数によって直接指定されるなど）場合には、利用される型情報が代わりに記載されます。						
データの操作種別	送信側にて提供されている「データの操作種別」を指定した際に、どのように値が渡されるかを表しています。 詳細は、以下の通りです。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>表記</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>該当クラス、メソッドを利用して値が渡される。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>値の格納無し。</td> </tr> </tbody> </table>	表記	説明	○	該当クラス、メソッドを利用して値が渡される。	-	値の格納無し。
表記	説明						
○	該当クラス、メソッドを利用して値が渡される。						
-	値の格納無し。						
説明	送受信モデルのプロパティに格納される値の説明を表しています。						

送信側一覧

システム管理・テナント管理

システム、および、テナントに関する管理情報についての送信側設定一覧です。

テナント環境セットアップ

- 概要

テナント環境セットアップが完了したことを通知します。

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.system.service.provider.updater.propagation.UpdatedTenant`
(非公開)

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericUpdatedTenant`
([APIドキュメント - GenericUpdatedTenant](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
PROC_COMPLETED	テナント環境セットアップが完了した。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	PROC_COMPLETED	説明
moduleInfoList	(List<GenericUpdatedModule>)	○	モジュール毎のスキーマバージョンリスト

テナント情報

- 概要

テナント情報への、作成・更新・削除の操作要求の受付と、変更処理が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.admin.tenant.model.TenantInfo`

([APIドキュメント - TenantInfo](#))

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericTenant`

([APIドキュメント - GenericTenant](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATING	テナント情報の作成要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだテナント情報は作成されていません。
DATA_CREATED	テナント情報が作成された。
DATA_UPDATING	テナント情報の更新要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだテナント情報は更新されていません。
DATA_UPDATED	テナント情報が更新された。
DATA_DELETING	テナント情報の削除要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだテナント情報は削除されていません。
DATA_DELETED	テナント情報が削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATING/ DATA_CREATED/ DATA_UPDATING/ DATA_UPDATED	DATA_DELETING/ DATA_DELETED	説明
tenantId	TenantInfo# getTenantId ()	○	○	テナントID
dateTimeFormats	TenantInfo# getDateTimeFormats ()	○	-	日付表示形式
emailAddress	TenantInfo# getEmailAddress ()	○	-	Eメールアドレス
encoding	TenantInfo# getEncoding ()	○	-	エンコーディング
firstDayOfWeek	TenantInfo# getFirstDayOfWeek ()	○	-	週の開始曜日の値
homeUrl	TenantInfo# getHomeUrl ()	○	-	ホームURL
locale	TenantInfo# getLocale ()	○	-	ロケール

プロパティ	参照元	DATA_CREATING/ DATA_CREATED/ DATA_UPDATING/ DATA_UPDATED	DATA_DELETING/ DATA_DELETED	説明
lockCount	TenantInfo# getLockCount ()	○	-	アカウントロック 閾値
lockTerm	TenantInfo# getLockTerm ()	○	-	アカウントロック 期間 (分)
themelds	TenantInfo# getThemelds ()	○	-	テーマIDリスト
timeZoneld	TenantInfo# getTimeZoneld ()	○	-	タイムゾーンID
calendarId	TenantInfo# getCalendarId ()	○	-	デフォルトカレン ダールID
defaultTenant	TenantInfo# isDefaultTenant ()	○	-	デフォルトテナン トフラグ
attributes	TenantInfo# getAttributes ()	○	-	拡張属性情報

システム管理者

- 概要

システム管理者情報への、作成・更新・削除の操作要求の受付と、変更処理が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.admin.tenant.model.Administrator`
([APIドキュメント - Administrator](#))

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericAdministrator`
([APIドキュメント - GenericAdministrator](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATING	システム管理者情報の作成要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだ日付情報は作成されていません。
DATA_CREATED	システム管理者情報が作成された。
DATA_UPDATING	システム管理者情報の更新要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだ日付情報は更新されていません。
DATA_UPDATED	システム管理者情報が更新された。
DATA_DELETING	システム管理者情報の削除要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだシステム管理者情報は削除されていません。

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_DELETED システム管理者情報が削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATING/ DATA_CREATED/ DATA_UPDATING/ DATA_UPDATED	DATA_DELETING/ DATA_DELETED	説明
userCd	Administrator# getUserCd ()	○	○	ユーザコード
password	Administrator# getPassword ()	○	-	パスワード
locale	Administrator# getLocale ()	○	-	ロケール
encoding	Administrator# getEncoding ()	○	-	エンコーディング
timeZoneld	Administrator# getTimeZoneld ()	○	-	タイムゾーンID
emailAddress	Administrator# getEmailAddress ()	○	-	Eメールアドレス
telephoneNumber	Administrator# getTelephoneNumber ()	○	-	電話番号

アカウント情報

- 概要

アカウント情報への、作成・更新・削除の操作要求の受付と、変更処理が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.admin.account.model.AccountInfo`
([APIドキュメント - AccountInfo](#))

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericAccount`
([APIドキュメント - GenericAccount](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATING アカウント情報の作成要求が受け付けられた。
※ この段階では、まだアカウント情報は作成されていません。

DATA_CREATED アカウント情報が作成された。

DATA_UPDATING アカウント情報の更新要求が受け付けられた。
※ この段階では、まだアカウント情報は更新されていません。

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_UPDATED アカウント情報が更新された。

DATA_DELETING アカウント情報の削除要求が受け付けられた。
※ この段階では、まだアカウント情報は削除されていません。

DATA_DELETED アカウント情報が削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

※ マッピングテーブルでは データの操作種別 を以下のように省略しています。

- CREATE
DATA_CREATING、および、DATA_CREATED
- UPDATE
DATA_UPDATING、および、DATA_UPDATED
- DELETE
DATA_DELETING、および、DATA_DELETED

プロパティ	参照元	CREATE	UPDATE	DELETE	説明
userCd	AccountInfo# getUserCd ()	○	○	○	ユーザコード
dateTimeFormats	AccountInfo# getDateTimeFormats ()	○	○	-	日付表示形式リスト
encoding	AccountInfo# getEncoding ()	○	○	-	エンコーディング
calendarId	AccountInfo# getCalendarId ()	○	○	-	カレンダーID
firstDayOfWeek	AccountInfo# getFirstDayOfWeek ()	○	○	-	週の開始曜日の値
locale	AccountInfo# getLocale ()	○	○	-	ロケール
lockDate	AccountInfo# getLockDate ()	○	○	-	アカウントロック日付
loginFailureCount	AccountInfo# getLoginFailureCount ()	○	○	-	ログイン失敗回数
notes	AccountInfo# getNotes ()	○	○	-	説明
password	AccountInfo# getPassword ()	○	△ [1]	-	パスワード
themelds	AccountInfo# getThemelds ()	○	○	-	テーマ情報一覧のIDリスト
timeZoneId	AccountInfo# getTimeZoneId ()	○	○	-	タイムゾーンID
validStartDate	AccountInfo# getValidStartDate ()	○	○	-	アカウント有効開始日
validEndDate	AccountInfo# getValidEndDate ()	○	○	-	アカウント有効終了日

- [1] 2016 Spring(Maxima) 以降のバージョンの場合、UPDATE 時にpasswordプロパティが伝搬されないことがあります。

AccountInfoManager#updateAccountInfo () で、passwordプロパティを含めて更新を行った場合は更新を行ったパスワード値が伝搬されます。

AccountInfoManager#updateAccountInfo () で、passwordプロパティ以外の更新を行った場合はパスワード値が伝搬されません。nullが設定されています。

アカウント付与ロール

- 概要

アカウント付与ロールへの、作成・更新・削除の操作要求の受付と、変更処理が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- 独自モデルの完全修飾子

jp.co.intra_mart.system.admin.propagation.model.PropagationAccountRole
(非公開)

- データ受信のための送受信モデル

jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericAccountRole
([APIドキュメント - GenericAccountRole](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATING	アカウント付与ロールの作成要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだアカウント付与ロールは作成されていません。
DATA_CREATED	アカウント付与ロールが作成された。
DATA_UPDATING	アカウント付与ロールの更新要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだアカウント付与ロールは更新されていません。
DATA_UPDATED	アカウント付与ロールが更新された。
DATA_DELETING	アカウント付与ロールの削除要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだアカウント付与ロールは削除されていません。
DATA_DELETED	アカウント付与ロールが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATING/ DATA_CREATED/ DATA_UPDATING/ DATA_UPDATED	DATA_DELETING/ DATA_DELETED	説明
userCd	(String)	○	○	ユーザコード
roleId	AccountRoleInfo# getRoleId ()	○	○	ロールID
roleValidStartDate	AccountRoleInfo# getRoleValidStartDate ()	○	-	ロール有効開始日

プロパティ	参照元	DATA_CREATING/ DATA_CREATED/ DATA_UPDATING/ DATA_UPDATED	DATA_DELETING/ DATA_DELETED	説明
roleValidEndDate	AccountRoleInfo# getRoleValidEndDate ()	○	-	ロール有効終了日

アカウントライセンス

- 概要

アカウントライセンスの付与、および、剥奪が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- 独自モデルの完全修飾子

jp.co.intra_mart.foundation.secure.license.model.AccountLicenseInfo
([APIドキュメント - AccountLicenseInfo](#))

- データ受信のための送受信モデル

jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericAccountLicense
([APIドキュメント - GenericAccountLicense](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATED アカウントライセンスが付与された。

DATA_DELETED アカウントライセンスが剥奪された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_DELETED	説明
userCd	AccountLicenseInfo# getUserCd ()	○	ユーザコード

アプリケーションライセンス

- 概要

アプリケーションライセンスの付与、および、剥奪が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- 独自モデルの完全修飾子

jp.co.intra_mart.foundation.secure.license.model.ApplicationLicenseInfo
([APIドキュメント - ApplicationLicenseInfo](#))

- データ受信のための送受信モデル

jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericApplicationLicense
([APIドキュメント - GenericApplicationLicense](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATED アプリケーションライセンスが付与された。

DATA_DELETED アプリケーションライセンスが剥奪された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_DELETED	説明
userCd	ApplicationLicenseInfo# getUserCd ()	○	ユーザコード
applicationId	ApplicationLicenseInfo# getApplicationId ()	○	アプリケーションID

テナントライセンス

- 概要

テナントライセンスの付与、および、剥奪が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2013 Winter(Felicia)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.secure.license.model.TenantAccountLicenseInfo`
([APIドキュメント - TenantAccountLicenseInfo](#))

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericTenantAccountLicense`
([APIドキュメント - GenericTenantAccountLicense](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATED テナントライセンスが付与された。

DATA_DELETED テナントライセンスが剥奪された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_UPDATED	説明
tenantId	TenantAccountLicenseInfo# getTenantId ()	○	テナントID
maxLicense	TenantAccountLicenseInfo# getMaxLicense ()	○	最大ライセンス数

ロール ^^^

- 概要

ロールへの、作成・更新・削除の操作要求の受付と、変更処理が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- 独自モデルの完全修飾子

jp.co.intra_mart.foundation.admin.role.model.RoleInfo

([APIドキュメント - RoleInfo](#))

- データ受信のための送受信モデル

jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericRole

([APIドキュメント - GenericRole](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATING	ロールの作成要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだロールは作成されていません。
DATA_CREATED	ロールが作成された。
DATA_UPDATING	ロールの更新要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだロールは更新されていません。
DATA_UPDATED	ロールが更新された。
DATA_DELETING	ロールの削除要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだロールは削除されていません。
DATA_DELETED	ロールが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATING/ DATA_CREATED/ DATA_UPDATING/ DATA_UPDATED	DATA_DELETING/ DATA_DELETED	説明
roleId	RoleInfo# getRoleId ()	○	○	ロールID
roleName	RoleInfo# getRoleName ()	○	-	ロール名
category	RoleInfo# getCategory ()	○	-	ロールカテゴリ
notes	RoleInfo# getNotes ()	○	-	ロールの詳細
nameMap	RoleInfo# getLocales () RoleInfo# getDisplayName ()	○	-	ロール表示名 [2]

補足説明

[\[2\]](#) 送受信モデルの「nameMap」は、key にロール表示名のロケールが格納され、value にロケールに紐づくロール表示名が格納されます。

(RoleInfo#getLocales () , RoleInfo#getCalendarName () → Map<Locale, String>)

サブロール

- 概要

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.system.admin.propagation.model.PropagationSubRole`
 (非公開)

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericParentChild`
 ([APIドキュメント - GenericParentChild](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATING	サブロールの追加要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだサブロールは追加されていません。
DATA_CREATED	サブロールが追加された。
DATA_DELETING	サブロールの削除要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだサブロールは削除されていません。
DATA_DELETED	サブロールが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATING/ DATA_CREATED/ DATA_DELETING/ DATA_DELETED	説明
parentId	(String)	○	ロールID
childId	(String)	○	サブロールID

IM-Authz (認可)

IM-Authz (認可) が持つ情報 (サブジェクト/リソース/ポリシー) についての送信側設定一覧です。

リソースグループ

- 概要

リソースグループへの、作成・更新・削除が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2013 Summer(Damask)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.authz.model.resources.ResourceGroup`
 ([APIドキュメント - ResourceGroup](#))

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericAuthzResourceGroup`
 ([APIドキュメント - GenericAuthzResourceGroup](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATED リソースグループが作成された。

DATA_UPDATED リソースグループが更新された。

DATA_DELETED リソースグループが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
resourceGroupSetId	(String)	○	○	リソースグループセットID
resourceGroupId	ResourceGroup# getResourceGroupId ()	○	○	リソースグループID
nameMap	ResourceGroup# getDisplayName ()	○	-	リソースグループ表示名 [3]
descMap	ResourceGroup# getDescription ()	○	-	説明 [4]
parentResourceGroupId	(String)	○	-	親リソースグループID

補足説明

[3] 送受信モデルの「nameMap」は、key にリソースグループ表示名のロケールが格納され、value にロケールに紐づくリソースグループ表示名が格納されます。

(I18nValue<String> → Map<Locale, String>)

[4] 送受信モデルの「descMap」は、key に説明のロケールが格納され、value にロケールに紐づく説明が格納されます。

(I18nValue<String> → Map<Locale, String>)

リソース

- 概要

リソースへの、作成・削除が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2013 Summer(Damask)

- 独自モデルの完全修飾子

jp.co.intra_mart.foundation.authz.model.resources.Resource
(APIドキュメント - Resource)

- データ受信のための送受信モデル

jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericAuthzResource
(APIドキュメント - GenericAuthzResource)

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATED リソースが作成された。

DATA_DELETED リソースが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_DELETED	説明
resourceGroupId	(String)	○	リソースグループID
resourceId	Resource# getResourceId ()	○	リソースID
resourceTypeId	Resource# getType () # getResourceTypeId ()	○	リソースタイプID [5]
uri	Resource# getUri ()	○	URI

補足説明

[5] 送受信モデルの「resourceTypeId」は、対象のリソースにリソースタイプIDが指定されている場合はその値が、指定されていない場合はURIをもとに、該当するリソースタイプIDの値が設定されます。

リソースグループ汎用属性

- 概要

リソースグループ汎用属性への、作成・更新・削除が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2013 Summer(Damask)

- 独自モデルの完全修飾子

jp.co.intra_mart.foundation.authz.model.resources.ResourceGroupAttribute
(APIドキュメント - ResourceGroupAttribute)

- データ受信のための送受信モデル

jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericAuthzResourceGroupAttribute
(APIドキュメント - GenericAuthzResourceGroupAttribute)

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATED リソースグループ汎用属性が作成された。

DATA_UPDATED リソースグループ汎用属性が更新された。

DATA_DELETED リソースグループ汎用属性が削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETED	説明
-------	-----	--	----

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETED	説明
resourceGroupId	ResourceGroupAttribute# getResourceGroupId ()	○	リソースグループID
attributeKey	ResourceGroupAttribute# getAttributeKey ()	○	属性キー
attributeValue	ResourceGroupAttribute# getAttributeValue ()	○	属性値

サブジェクトグループ

- 概要

サブジェクトグループへの、作成・更新・削除が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.authz.model.subjects.SubjectGroup`
([APIドキュメント - SubjectGroup](#))

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericAuthzSubjectGroup`
([APIドキュメント - GenericAuthzSubjectGroup](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATED	サブジェクトグループが作成された。
DATA_UPDATED	サブジェクトグループが更新された。
DATA_DELETED	サブジェクトグループが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
subjectGroupId	SubjectGroup# getSubjectGroupId ()	○	○	サブジェクトグループID
nameMap	SubjectGroup# getDisplayName ()	○	-	サブジェクトグループ表示名 [6]
descMap	SubjectGroup# getDescription ()	○	-	説明 [7]

補足説明

[6] 送受信モデルの「nameMap」は、key にサブジェクトグループ表示名のロケールが格納され、value にロケールに紐づくサブジェクトグループ表示名が格納されます。
(`I18nValue<String> → Map<Locale, String>`)

[7] 送受信モデルの「descMap」は、key に説明のロケールが格納され、value にロケールに紐づく説明が格納されます。

(I18nValue<String> → Map<Locale, String>)

ポリシー

- 概要

ポリシーへの、作成・更新・削除が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2013 Summer(Damask)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.authz.model.policies.Policy`

([APIドキュメント - Policy](#))

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericAuthzPolicy`

([APIドキュメント - GenericAuthzPolicy](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATED	ポリシーが作成された。
DATA_UPDATED	ポリシーが更新された。
DATA_DELETED	ポリシーが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETED	説明
policyId	Policy# getPolicyId ()	○	ポリシーID
resourceGroupId	Policy# getResourceGroupId ()	○	リソースグループID
resourceTypeId	Policy# getResourceTypeId ()	○	リソースタイプID
actionId	Policy# getAction ()	○	アクション
subjectGroupId	Policy# getSubjectGroupId ()	○	サブジェクトグループID
effect	Policy# getEffect ()	○	エフェクト [8]

補足説明

[8] 送受信モデルの「effect」には、以下のいずれかの値が格納されます。

値の定義は、`jp.co.intra_mart.foundation.authz.model.policies.Effect` を参照してください

([APIドキュメント - Effect](#))

- “permit”
- “deny”

ポリシー (全件削除)

- 概要

ポリシーが全件削除されたことを通知します。

- 導入バージョン

2013 Summer(Damask)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.authz.model.policies.Policy`

([APIドキュメント - Policy](#))

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.EmptyObject`

([APIドキュメント - EmptyObject](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_ALL_DELETED	ポリシーが全て削除された。

メニュー/メニューグループ

メニュー、および、メニューグループの情報についての送信側設定一覧です。

メニューグループ

- 概要

メニューグループへの、作成・更新・削除が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.menu.model.MenuGroup`

([APIドキュメント - MenuGroup](#))

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericMenuGroup`

([APIドキュメント - GenericMenuGroup](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATED	メニューグループが作成された。
DATA_UPDATED	メニューグループが更新された。

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_DELETED メニューグループが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETED	説明
menuGroupId	MenuGroup# getMenuGroupId ()	○	メニューグループID
clientType	-	-	クライアントタイプ
childMenuItemId	MenuGroup# getMenuId ()	○	配下のメニューアイテムID
nameMap	MenuGroup# getMenuTree () # getMenuItem () # getDisplayNames ()	○	メニュー表示名 [9]
noteMap	-	-	備考

補足説明

[9] 送受信モデルの「nameMap」は、key にメニュー表示名のロケールが格納され、value にロケールに紐づくメニュー表示名が格納されます。

(DisplayNames (Map<String, DisplayName>) → Map<Locale, String>)

メニューアイテム

- 概要

メニューアイテムへの、作成・更新・削除が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2013 Spring(Climbing)

- 独自モデルの完全修飾子

jp.co.intra_mart.system.menu.propagation.HierarchicalMenuItem
(非公開)

- データ受信のための送受信モデル

jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericMenuItem
(APIドキュメント - GenericMenuItem)

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATED メニューアイテムが作成された。

DATA_UPDATED メニューアイテムが更新された。

DATA_DELETED メニューアイテムが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
menuId	MenuItem# getId ()	○	○	メニューID
type	MenuItem# getType ()	○	-	メニューデータ種別 [10]
description	MenuItem# getDescription ()	○	-	説明
sortNumber	MenuItem# getSortNumber ()	○	-	ソート番号
url	MenuItem# getUrl ()	○	-	URL
menuGroupId	(String)	○	-	メニューグループID
parentMenuId	(String)	○	-	親メニューID
originalMenuId	MenuItem# getOriginalMenuId ()	○	-	コピー元メニューID
method	MenuItem# getMethod ()	○	-	呼び出し方法
useIframe	MenuItem# isUseIframe ()	○	-	Iframe表示/非表示フラグ
usePopup	MenuItem# isUsePopup ()	○	-	ポップアップ表示/非表示フラグ
imagePath	MenuItem# getImagePath ()	○	-	画像ファイルパス
icon16	MenuItem# getIcon16 ()	○	-	16x16サイズ用アイコンのアイコンID
icon32	MenuItem# getIcon32 ()	○	-	32x32サイズ用アイコンのアイコンID
icon48	MenuItem# getIcon48 ()	○	-	48x48サイズ用アイコンのアイコンID
arguments	MenuItem# getArguments ()	○	-	引数 [11]
nameMap	MenuItem# getDisplayNames ()	○	-	メニュー表示名 [12]

補足説明

[\[10\]](#) 送受信モデルの「type」には、以下のいずれかの値が格納されます。

値の定義は、`jp.co.intra_mart.foundation.menu.model.MenuItemType` を参照してください
([APIドキュメント - MenuItemType](#))

- “folder”
- “item”
- “external”

[\[11\]](#) 送受信モデルの「arguments」は、key に引数キー名が格納され、value に引数の値が格納されます。
(`Map<String, String> → Map<String, String>`)

[12] 送受信モデルの「nameMap」は、key にメニュー表示名のロケールが格納され、value にロケールに紐づくメニュー表示名が格納されます。

(DisplayNames (Map<String, DisplayName>) → Map<Locale, String>)

メニューIDの変更

- 概要

メニューIDが変更されたことを通知します。

- 導入バージョン

2013 Spring(Climbing)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.system.menu.propagation.ChangeMenuId`

(非公開)

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericFromTo`

([APIドキュメント - GenericFromTo](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
ID_CHANGED	メニューアイテムのIDが変更された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	ID_CHANGED	説明
from	(String)	○	変更前のメニューグループID/メニューアイテムID
to	(String)	○	変更後のメニューグループID/メニューアイテムID

カレンダー

カレンダーの持つ情報についての送信側設定一覧です。

カレンダー

- 概要

カレンダーへの、作成・更新・削除の操作要求の受付と、変更処理が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.calendar.model.CalendarInfo`

([APIドキュメント - CalendarInfo](#))

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericCalendar`

([APIドキュメント - GenericCalendar](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATING	カレンダーの作成要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだカレンダーは作成されていません。
DATA_CREATED	カレンダーが作成された。
DATA_UPDATING	カレンダーの更新要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだカレンダーは更新されていません。
DATA_UPDATED	カレンダーが更新された。
DATA_DELETING	カレンダーの削除要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだカレンダーは削除されていません。
DATA_DELETED	カレンダーが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATING/ DATA_CREATED/ DATA_UPDATING/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETING/ DATA_DELETED	説明
calendarId	CalendarInfo# getCalendarId ()	○	カレンダーID
nameMap	CalendarInfo# getLocales () CalendarInfo# getCalendarName ()	○	カレンダー表示名 [13]
sortKey	CalendarInfo# getSortKey ()	○	ソートキー

補足説明

- [13] 送受信モデルの「nameMap」は、key にカレンダー表示名のロケールが格納され、value にロケールに紐づくカレンダー表示名が格納されます。
(CalendarInfo#getLocales, CalendarInfo#getCalendarName → Map<Locale, String>)

カレンダーに紐づく日付情報セット

- 概要

カレンダーに紐づく日付情報セットへの、作成・更新・削除の操作要求の受付と、変更処理が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- 独自モデルの完全修飾子

jp.co.intra_mart.system.calendar.propagation.CalendarDaySetAttach
(非公開)

- データ受信のための送受信モデル

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATING	日付情報セットの紐付けの作成要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだ日付情報セット紐付けは作成されていません。
DATA_CREATED	日付情報セットの紐付けが作成された。
DATA_UPDATING	日付情報セットの紐付けの更新要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだ日付情報セットの紐付けは更新されていません。
DATA_UPDATED	日付情報セットの紐付けが更新された。
DATA_DELETING	日付情報セットの紐付けの削除要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだ日付情報セットの紐付けは削除されていません。
DATA_DELETED	日付情報セットの紐付けが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATING/ DATA_CREATED/ DATA_UPDATING/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETING/ DATA_DELETED	説明
calendarId	CalendarDaySetAttach# getCalendarId ()	○	カレンダーID
dayInfoSetIds	CalendarDaySetAttach# getDayInfoSetIds ()	○	日付情報セットIDリスト

曜日情報

- 概要

カレンダーの曜日情報への、作成・更新・削除の操作要求の受付と、変更処理が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- 独自モデルの完全修飾子

jp.co.intra_mart.foundation.calendar.model.CalendarWeekDayInfo
 ([APIドキュメント - CalendarWeekDayInfo](#))

- データ受信のための送受信モデル

jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericCalendarWeekDay
 ([APIドキュメント - GenericCalendarWeekDay](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
----------	-------------

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATING	曜日情報の作成要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだ曜日情報は作成されていません。
DATA_CREATED	曜日情報が作成された。
DATA_UPDATING	曜日情報の更新要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだ曜日情報は更新されていません。
DATA_UPDATED	曜日情報が更新された。
DATA_DELETING	曜日情報の削除要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだ曜日情報は削除されていません。
DATA_DELETED	曜日情報が削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATING/ DATA_CREATED/ DATA_UPDATING/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETING/ DATA_DELETED	説明
calendarId	CalendarWeekDayInfo# getCalendarId ()	○	カレンダーID
dayOfWeek	CalendarWeekDayInfo# getDayOfWeek ()	○	対象曜日の値
color	CalendarWeekDayInfo# getColor ()	○	表示色
holiday	CalendarWeekDayInfo# isHoliday ()	○	休日フラグ

日付情報セット

- 概要

カレンダーの日付情報セットへの、作成・更新・削除の操作要求の受付と、変更処理が行われたことを通知します。
- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)
- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.calendar.model.DayInfoSet`
([APIドキュメント - DayInfoSet](#))
- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericDaySet`
([APIドキュメント - GenericDaySet](#))
- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATING	日付情報セットの作成要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだ日付情報セットは作成されていません。
DATA_CREATED	日付情報セットが作成された。
DATA_UPDATING	日付情報セットの更新要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだ日付情報セットは更新されていません。
DATA_UPDATED	日付情報セットが更新された。
DATA_DELETING	日付情報セットの削除要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだ日付情報セットは削除されていません。
DATA_DELETED	日付情報セットが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATING/ DATA_CREATED/ DATA_UPDATING/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETING/ DATA_DELETED	説明
dayInfoSetId	DayInfoSet# getDayInfoSetId ()	○	日付情報セットID
firstDayOfWeek	DayInfoSet# getFirstDayOfWeek ()	○	週の開始曜日の値
nameMap	DayInfoSet# getLocales () DayInfoSet# getDayInfoSetName ()	○	日付情報セット表示名 [14]
mergeSortKey	DayInfoSet# getMergeSortKey ()	○	マージソートキー
sortKey	DayInfoSet# getSortKey ()	○	ソートキー

補足説明

- [14] 送受信モデルの「nameMap」は、key に日付情報セット表示名のロケールが格納され、value にロケールに紐づく日付情報セット表示名が格納されます。
(DayInfoSet#getLocales, DayInfoSet#getDayInfoSetName → Map<Locale, String>)

日付情報

- 概要

カレンダーの日付情報への、作成・更新・削除の操作要求の受付と、変更処理が行われたことを通知します。
- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)
- 独自モデルの完全修飾子

jp.co.intra_mart.foundation.calendar.model.DayInfo

(APIドキュメント - DayInfo)

- データ受信のための送受信モデル

jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericDay

(APIドキュメント - GenericDay)

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATING	日付情報の作成要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだ日付情報は作成されていません。
DATA_CREATED	日付情報が作成された。
DATA_UPDATING	日付情報の更新要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだ日付情報は更新されていません。
DATA_UPDATED	日付情報が更新された。
DATA_DELETING	日付情報の削除要求が受け付けられた。 ※ この段階では、まだ日付情報は削除されていません。
DATA_DELETED	日付情報が削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATING/ DATA_CREATED/ DATA_UPDATING/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETING/ DATA_DELETED	説明
dayInfoSetId	DayInfo# getDayInfoSetId ()	○	日付情報セットID
dayInfoId	DayInfo# getDayInfoId ()	○	日付情報ID
dataType	DayInfo# getDataType ()	○	データタイプ
validStartYear	DayInfo# getValidStartYear ()	○	有効開始年
validEndYear	DayInfo# getValidEndYear ()	○	有効終了年
color	DayInfo# getColor ()	○	表示色
dayOfMonth	DayInfo# getDayOfMonth ()	○	対象日
dayOfWeek	DayInfo# getDayOfWeek ()	○	対象曜日
dayOfWeekInMonth	DayInfo# getDayOfWeekInMonth ()	○	対象が第何曜日かという情報

プロパティ	参照元	DATA_CREATING/ DATA_CREATED/ DATA_UPDATING/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETING/ DATA_DELETED	説明
weekOfMonth	DayInfo# getWeekOfMonth ()	○	対象週
month	DayInfo# getMonth ()	○	対象月
fullYear	DayInfo# getFullYear ()	○	対象年
nameMap	DayInfo# getLocales () DayInfo# getDayInfoName ()	○	日付情報表示名 [15]
mergeSortKey	DayInfo# getMergeSortKey ()	○	マージソートキー
sortKey	DayInfo# getSortKey ()	○	ソートキー

補足説明

[15] 送受信モデルの「nameMap」は、key に日付情報表示名のロケールが格納され、value にロケールに紐づく日付情報表示名が格納されます。

(DayInfo#getLocales () , DayInfo#getDayInfoName () → Map<Locale, String>)

ジョブ/ジョブネット

ジョブ、および、ジョブネットの持つ情報についての送信側設定一覧です。

ジョブネットカテゴリ

- 概要

ジョブネットカテゴリの作成・更新・削除が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2013 Summer(Damask)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.job_scheduler.model.jobnet.JobnetCategory`
([APIドキュメント - JobnetCategory](#))

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericJobnetCategory`
([APIドキュメント - GenericJobnetCategory](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATED ジョブネットカテゴリが作成された。

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_UPDATED ジョブネットカテゴリ情報が更新された。

DATA_DELETED ジョブネットカテゴリが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED		DATA_DELETED	説明
id	JobnetCategory# getId ()	○	○		ジョブネットカテゴリID
parentId	JobnetCategory# getParentId ()	○	-		親カテゴリID
nameMap	JobnetCategory# getLocalizes ()	○	-		ジョブネットカテゴリ表示名 [16]

補足説明

[\[16\]](#) 送受信モデルの「nameMap」は、key にジョブネットカテゴリ表示名のロケールが格納され、value にロケールに紐づくジョブネットカテゴリ表示名が格納されます。

(Map<Locale, CategoryLocalize> → Map<Locale, String>)

ジョブネット

- 概要

ジョブネットの作成・更新・削除が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.job_scheduler.model.jobnet.Jobnet`
([APIドキュメント - Jobnet](#))

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericJobnet`
([APIドキュメント - GenericJobnet](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATED ジョブネットが作成された。

DATA_UPDATED ジョブネット情報が更新された。

DATA_DELETED ジョブネットが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED		DATA_DELETED	説明
id	Jobnet# getId ()	○	○		ジョブネットID

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
categoryId	Jobnet# getCategoryId ()	○	-	カテゴリID
disallowConcurrent	Jobnet# isDisallowConcurrent ()	○	-	同時実行禁止状態フラグ
parameters	Jobnet# getParameters ()	○	-	パラメータ
names	Jobnet# getLocalizes ()	○	-	ジョブネット表示名 [17]
descriptions	Jobnet# getLocalizes ()	○	-	説明 [18]
useJobIds	-	-	-	ジョブIDリスト
triggerId	-	-	-	トリガID
monitorId	-	-	-	モニターID
status	-	-	-	実行結果ステータス
startDate	-	-	-	ジョブネット開始日時
endDate	-	-	-	ジョブネット終了日時
cause	-	-	-	原因の例外

補足説明

[\[17\]](#) 送受信モデルの「names」は、key にジョブネット表示名のロケールが格納され、value にロケールに紐づくジョブネット表示名が格納されます。

(Map<Locale, JobnetLocalize> → Map<Locale, String>)

[\[18\]](#) 送受信モデルの「descriptions」は、key に説明のロケールが格納され、value にロケールに紐づく説明が格納されます。

(Map<Locale, JobnetLocalize> → Map<Locale, String>)

ジョブカテゴリ

- 概要

ジョブカテゴリの作成・更新・削除が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2013 Summer(Damask)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.job_scheduler.model.job.JobCategory`
([APIドキュメント - JobCategory](#))

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericJobCategory`
([APIドキュメント - GenericJobCategory](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATED ジョブカテゴリが作成された。

DATA_UPDATED ジョブカテゴリ情報が更新された。

DATA_DELETED ジョブカテゴリが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
id	JobCategory# getId ()	○	○	カテゴリID
parentId	JobCategory# getParentId ()	○	-	親カテゴリID
nameMap	JobCategory# getLocalizes ()	○	-	カテゴリ表示名 [19]

補足説明

[19] 送受信モデルの「nameMap」は、key にカテゴリ表示名のロケールが格納され、value にロケールに紐づくカテゴリ表示名が格納されます。

(Map<Locale, JobnetLocalize> → Map<Locale, String>)

ジョブ ^^^

- 概要

ジョブの作成・更新・削除が行われたことを通知します。

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- 独自モデルの完全修飾子

jp.co.intra_mart.foundation.job_scheduler.model.job.JobDetail

(APIドキュメント - JobDetail)

- データ受信のための送受信モデル

jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericJob

(APIドキュメント - GenericJob)

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATED ジョブが作成された。

DATA_UPDATED ジョブ情報が更新された。

DATA_DELETED ジョブが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
id	JobDetail# getId ()	○	○	ジョブID

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
categoryId	JobDetail# getCategoryId ()	○	-	カテゴリID
jobType	JobDetail# getJobType ()	○	-	ジョブ種別
jobPath	JobDetail# getJobPath ()	○	-	ジョブ実行パス
parameters	JobDetail# getParameters ()	○	-	パラメータ
nameMap	JobDetail# getLocalizes ()	○	-	ジョブ表示名 [20]
descriptionMap	JobDetail# getLocalizes ()	○	-	説明 [21]

補足説明

[20] 送受信モデルの「nameMap」は、key にジョブ表示名のロケールが格納され、value にロケールに紐づくジョブ表示名が格納されます。

(Map<Locale, JobnetLocalize> → Map<Locale, String>)

[21] 送受信モデルの「descriptionMap」は、key に説明のロケールが格納され、value にロケールに紐づく説明が格納されます。

(Map<Locale, JobnetLocalize> → Map<Locale, String>)

ジョブネット (トリガ)

- 概要

ジョブネットのトリガ情報が作成・更新・削除されたことを通知します。

- 導入バージョン

2013 Summer(Damask)

- 独自モデルの完全修飾子

jp.co.intra_mart.foundation.job_scheduler.model.trigger.Trigger

(APIドキュメント - Trigger)

- データ受信のための送受信モデル

jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericJobnetTrigger

(APIドキュメント - GenericJobnetTrigger)

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATED	トリガが作成された。
DATA_UPDATED	トリガ情報が更新された。
DATA_DELETED	トリガが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
プロパティ id	参照元 Trigger# getId ()	○	○	説明 トリガID
jobnetId	Trigger# getJobnetId ()	○	-	ジョブネットID
parameters	Trigger# getParameters ()	○	-	パラメータ
description	Trigger# getDescription ()	○	-	説明
enable	Trigger# isEnabled ()	○	-	トリガ有効状態フラグ
triggerClassName	Trigger# getClass () # toString ()	○	-	トリガの完全修飾名
triggerValueMap	(Map<String, Object>)	○	-	拡張されたトリガフィールド 情報

ジョブネット (実行完了)

- 概要

ジョブネットの実行が完了したことを通知します。

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.system.job_scheduler.propagation.CompletedJobnetInfoModel`

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericJobnet`
(APIドキュメント - [GenericJobnet](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
PROC_COMPLETED	ジョブネットの実行が完了した。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	PROC_COMPLETED	説明
id	JobSchedulerContext# getJobnet () # getId ()	○	ジョブネットID
categoryId	JobSchedulerContext# getJobnet () # getCategoryId ()	○	カテゴリID
disallowConcurrent	JobSchedulerContext# getJobnet () # isDisallowConcurrent ()	○	同時実行禁止状態フラグ

プロパティ	参照元	PROC_COMPLETED	説明
parameters	Monitor# getParameters ()	○	パラメータ
names	JobSchedulerContext# getJobnet () # getLocalizes ()	○	ジョブネット表示名 [22]
descriptions	JobSchedulerContext# getJobnet () # getLocalizes ()	○	説明 [23]
triggerId	JobSchedulerContext# getTrigger () # getId ()	○	トリガID
monitorId	JobSchedulerContext# getTrigger () # getMonitorId ()	○	モニターID
status	Monitor# getStatus ()	○	実行結果ステータス [24]
startDate	Monitor# getStartDate ()	○	ジョブネット開始日時
endDate	Monitor# getEndDate ()	○	ジョブネット終了日時
cause	(Throwable)	-	原因の例外

補足説明

[22] 送受信モデルの「names」は、key にジョブネット表示名のロケールが格納され、value にロケールに紐づくジョブネット表示名が格納されます。

(Map<Locale, JobnetLocalize> → Map<Locale, String>)

[23] 送受信モデルの「descriptions」は、key に説明のロケールが格納され、value にロケールに紐づく説明が格納されます。

(Map<Locale, JobnetLocalize> → Map<Locale, String>)

[24] 送受信モデルの「status」は、Monitor#getStatus () を [GenericJobnet](#) に定数として定義されたステータスに変換して格納されます。

Salesforce 連携

Salesforce 連携情報についての送信側設定一覧です。

Salesforce監視対象オブジェクト

- 概要

Salesforce監視対象オブジェクトの、レコード作成・更新・削除・復元のイベントメッセージが届いたことを通知します。

- 導入バージョン

2016 Summer(Nirvana)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.salesforce.streaming.model.SalesforceEventNotification`

([APIドキュメント - SalesforceEventNotification](#))

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.salesforce.GenericSalesforceEventNotification`
 ([APIドキュメント - GenericSalesforceEventNotification](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATED	監視対象オブジェクトのレコード作成イベントメッセージが届いた。
DATA_UPDATED	監視対象オブジェクトのレコード更新イベントメッセージが届いた。
DATA_DELETED	監視対象オブジェクトのレコード削除イベントメッセージが届いた。
DATA_UN_DELETED	監視対象オブジェクトのレコード復元イベントメッセージが届いた。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED/ DATA_UN_DELETED	説明
tenantId	SalesforceEventNotification# getTenantId ()	○	○	テナントID
topicName	SalesforceEventNotification# getTopicName ()	○	○	トピック名
eventType	SalesforceEventNotification# getEventType ()	○	○	イベントの種類
replayId	SalesforceEventNotification# getReplayId ()	○	○	再生 ID
createdDate	SalesforceEventNotification# getCreatedDate ()	○	○	イベント通知の作成日時
fields	SalesforceEventNotification# getFields ()	○	○	オブジェクト項目名と値 [25]

補足説明

[\[25\]](#) 送受信モデルの「fields」は、Map<String, Object>型で、key に監視対象オブジェクトの項目名が格納され、value に項目値が格納されます。

コラム

オブジェクトを監視対象とするには、Salesforce上に PushTopic が作成されている必要があります。詳しくは、「[Salesforce 連携セットアップガイド](#)」、「[Salesforce 連携チュートリアルガイド](#)」、および、「[Force.com ストリーミング API 開発者ガイド](#)」を参照してください。

- Force.com ストリーミング API 開発者ガイド - ステップ 2: PushTopic を作成する (日本語)
- Force.com Streaming API Developer Guide - Step 2: Create a PushTopic (English)

Salesforce Streaming Client Service エラー情報

- 概要

Salesforce Streaming Client Service のセッションでエラーが発生したことを通知します。

- 導入バージョン

2016 Summer(Nirvana)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.salesforce.GenericSalesforceStreamingFatalErrorInfo`
 (データ受信のための送受信モデルと同じ)

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.salesforce.GenericSalesforceStreamingFatalErrorInfo`
 ([APIドキュメント - GenericSalesforceStreamingFatalErrorInfo](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

PROC_FAILED Salesforce Streaming Client Service のセッションでエラーが発生した。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	PROC_FAILED	説明
errorMessages	GenericSalesforceStreamingFatalErrorInfo# getErrorMessages ()	○	エラーが発生した際の例外メッセージ。返却値には、エラーが発生した際の例外の原因となった例外メッセージも含まれます。
newState	GenericSalesforceStreamingFatalErrorInfo# getNewState ()	○	エラー発生後のセッションの状態
oldState	GenericSalesforceStreamingFatalErrorInfo# getOldState ()	○	エラー発生前のセッションの状態
sessionId	GenericSalesforceStreamingFatalErrorInfo# getSessionId ()	○	Salesforce Streaming のセッションID
sessionSalesforceAPIVersion	GenericSalesforceStreamingFatalErrorInfo# getSessionSalesforceAPIVersion ()	○	Salesforce のAPIバージョン番号
sessionSalesforceAPIVersionName	GenericSalesforceStreamingFatalErrorInfo# getSessionSalesforceAPIVersionName ()	○	Salesforce のAPIバージョン名 例) 36.0 - Spring '16
sessionSalesforceClientId	GenericSalesforceStreamingFatalErrorInfo# getSessionSalesforceClientId ()	○	Salesforce クライアントを識別する一意のID

プロパティ	参照元	PROC_FAILED	説明
sessionState	GenericSalesforceStreamingFatalErrorInfo# getSessionState ()	○	セッションの状態
sessionTenantId	GenericSalesforceStreamingFatalErrorInfo# getSessionTenantId ()	○	テナントID
sessionTopicNames	GenericSalesforceStreamingFatalErrorInfo# getSessionTopicNames ()	○	セッションが購読していたトピック名

IM-共通マスタ

IM-共通マスタ に関する情報についての送信側設定一覧です。

コラム

IM-共通マスタ のカテゴリは 2018 Spring(Skylark) から利用可能です。
標準では IM-共通マスタ のカテゴリを利用する設定がされていないため、設定ファイルを編集する必要があります。
設定方法に関しては、IM-共通マスタ 仕様書「[IM-LogicDesigner のフロートリガで IM-共通マスタ を使用する](#)」を参照してください。

ユーザプロファイル

- 概要

ユーザプロファイルの作成・更新が完了したことを通知します。

- 導入バージョン

2018 Spring(Skylark)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.system.master.user.propagation.model.PropagationUser`
(非公開)

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.master.GenericUser`
([APIドキュメント - GenericUser](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATED	ユーザ情報が作成された。
DATA_UPDATED	ユーザ情報が更新された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	説明
defaultLocale	GenericUser# getDefaultLocale ()	○	デフォルトロケール
disable	GenericUser# isDisable ()	○	削除フラグ

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	説明
endDate	GenericUser# getEndDate ()	○	終了日
localeElementMap	GenericUser# getLocaleElementMap ()	○	国際化情報マップ
recordDate	GenericUser# getRecordDate ()	-	更新日
recordUserCd	GenericUser# getRecordUserCd ()	-	更新ユーザコード
sex	GenericUser# getSex ()	○	性別
sortKey	GenericUser# getSortKey ()	○	ソートキー
startDate	GenericUser# getStartDate ()	○	開始日
termCd	GenericUser# getTermCd ()	○	期間コード
userCd	GenericUser# getUserCd ()	○	ユーザコード

ユーザの組織所属情報

- 概要

ユーザの組織所属情報の作成・更新・削除が完了したことを通知します。

- 導入バージョン

2018 Spring(Skylark)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.system.master.user.propagation.model.PropagationDepartment`
(非公開)

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.master.GenericDepartment`
([APIドキュメント - GenericDepartment](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATED ユーザの所属情報が作成された。

DATA_UPDATED ユーザの所属情報が更新された。

DATA_DELETED ユーザの所属情報が削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
-------	-----	-------------------------------	--------------	----

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
companyCd	GenericDepartment# getCompanyCd ()	○	○	会社コード
departmentCd	GenericDepartment# getDepartmentCd ()	○	○	組織コード
departmentSetCd	GenericDepartment# getDepartmentSetCd ()	○	○	組織セットコード
endDate	GenericDepartment# getEndDate ()	○	-	終了日
departmentMain	GenericDepartment# isDepartmentMain ()	○	-	主所属フラグ
startDate	GenericDepartment# getStartDate ()	○	-	開始日
termCd	GenericDepartment# getTermCd ()	○	-	期間コード
userCd	GenericDepartment# getUserCd ()	○	○	ユーザコード

ユーザのパブリックグループ所属情報

- 概要

ユーザのパブリックグループ所属情報の作成・更新・削除が完了したことを通知します。

- 導入バージョン

2018 Spring(Skylark)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.system.master.user.propagation.model.PropagationPublicGroup`
(非公開)

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.master.GenericPublicGroup`
([APIドキュメント - GenericPublicGroup](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATED	ユーザの所属情報が作成された。
DATA_UPDATED	ユーザの所属情報が更新された。
DATA_DELETED	ユーザの所属情報が削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
endDate	GenericPublicGroup# getEndDate ()	○	-	終了日
publicGroupCd	GenericPublicGroup# getPublicGroupCd ()	○	○	パブリックグループ コード

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED		DATA_DELETED	説明
publicGroupSetCd	GenericPublicGroup# getPublicGroupSetCd ()	○	○		パブリックグループ セットコード
startDate	GenericPublicGroup# getStartDate ()	○	-		開始日
termCd	GenericPublicGroup# getTermCd ()	○	-		期間コード
userCd	GenericPublicGroup# getUserCd ()	○	○		ユーザコード

IM-Knowledge

IM-Knowledgeに関する情報についての送信側設定一覧です。

Wiki情報

- 概要

Wikiの作成・更新・削除が完了したことを通知します。

- 導入バージョン

2019 Summer(Waltz)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.wiki.logic.trigger.WikiContentsInfo`
(非公開)

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.wiki.GenericWikiContents`
([APIドキュメント - GenericWikiContents](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATED	Wikiが作成された。
DATA_UPDATED	Wikiが更新された。
DATA_DELETED	Wikiが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_UPDATED / DATA_CREATED		DATA_DELETED	説明
wikild	GenericWikiContents# getWikild ()	○	○		WikiID
knowledgeGroupId	GenericWikiContents# getKnowledgeGroupId ()	○	○		ナレッジグループ ID
wikiName	GenericWikiContents# getWikiName ()	○	○		Wiki名

プロパティ	参照元	DATA_UPDATED		説明
		DATA_CREATED	DATA_DELETED	
thumbnail	GenericWikiContents# getThumbnail ()	○	○	サムネイル
tags	GenericWikiContents# getTags ()	○	○	タグ
mainPageCd	GenericWikiContents# getMainPageCd ()	○	○	メインページコード
title	GenericWikiContents# getTitle ()	○	○	タイトル
formatType	GenericWikiContents# getFormatType ()	○	○	テキスト形式
contents	GenericWikiContents# getContents ()	○	○	本文
wikiAttachFiles	GenericWikiContents# getWikiAttachFiles ()	-	○	添付ファイル
path	GenericWikiContents# getPath ()	○	○	Wikiコンテンツパス
createUserCd	GenericWorkbook# getCreateUserCd ()	○	○	登録ユーザコード
createUserName	GenericWikiContents# getCreateUserName ()	○	○	登録ユーザ名
createDate	GenericWikiContents# getCreateDate ()	○	○	登録日時
recordUserCd	GenericWikiContents# getRecordUserCd ()	○	○	更新ユーザコード
recordUserName	GenericWikiContents# getRecordUserName ()	○	○	更新ユーザ名
recordDate	GenericWikiContents# getRecordDate ()	○	○	更新日時

Wikiページ情報

- 概要

Wikiページの作成・更新・削除が完了したことを通知します。

- 導入バージョン

2019 Summer(Waltz)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.wiki.logic.trigger.WikiPageInfo`
(非公開)

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.wiki.GenericWikiPage`
([APIドキュメント - GenericWikiPage](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATED Wikiページが作成された。

DATA_UPDATED Wikiページが更新された。

DATA_DELETED Wikiページが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

※ マッピングテーブルでは データの操作種別 を以下のように省略しています。

- CREATE
DATA_CREATED
- UPDATE
DATA_UPDATED
- DELETE
DATA_DELETED

プロパティ	参照元	CREATE	UPDATE	DELETE	説明
wikid	GenericWikiPage# getWikid ()	○	○	○	WikiID
wikiName	GenericWikiPage# getWikiName ()	○	○	○	Wiki名
wikiPageCd	GenericWikiPage# getWikiPageCd ()	○	○	○	Wikiページコード
parentWikiPageCd	GenericWikiPage# getParentWikiPageCd ()	○	○	○	親ページコード
title	GenericWikiPage# getTitle ()	○	○	○	タイトル
formatType	GenericWikiPage# getFormatType ()	○	○	○	テキスト形式
contents	GenericWikiPage# getContents ()	○	○	○	本文
wikiAttachFiles	GenericWikiPage# getWikiAttachFiles ()	-	○	○	添付ファイル
comment	GenericWikiPage# getComment ()	○	○	○	コメント
version	GenericWikiPage# getVersion ()	○	○	○	バージョン
path	GenericWikiPage# getPath ()	○	○	○	Wikiページパス
deletedPages	GenericWikiPage# getDeletedPages ()	-	-	○	削除された子ページ情報
createUserCd	GenericWorkbook# getCreateUserCd ()	○	○	○	登録ユーザコード
createUserName	GenericWorkbook# getCreateUserName ()	○	○	○	登録ユーザ名
createDate	GenericWorkbook# getCreateDate ()	○	○	○	登録日時

プロパティ	参照元	CREATE	UPDATE	DELETE	説明
recordUserCd	GenericWorkbook# getRecordUserCd ()	○	○	○	更新ユーザコード
recordUserName	GenericWorkbook# getRecordUserName ()	○	○	○	更新ユーザ名
recordDate	GenericWorkbook# getRecordDate ()	○	○	○	更新日時

Wikiページ添付ファイル情報

- 概要

Wikiページ添付ファイルの作成・削除が完了したことを通知します。

- 導入バージョン

2019 Summer(Waltz)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.wiki.logic.trigger.WikiPageAttachmentFileInfo`
(非公開)

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.wiki.GenericWikiPageAttachmentFile`
(APIドキュメント - [GenericWikiPageAttachmentFile](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATED	Wikiページの添付ファイルが作成された。
DATA_DELETED	Wikiページの添付ファイルが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED / DATA_DELETED		説明
wikiPageCd	GenericWorkbook# getWikiPageCd ()	○		Wikiページコード
title	GenericWorkbook# getTitle ()	○		タイトル
wikiAttachFiles	GenericWorkbook# getWikiAttachFiles ()	○		添付ファイル

ワークブック情報

- 概要

ワークブックの作成・更新・削除が完了したことを通知します。

- 導入バージョン

2019 Summer(Waltz)

- 独自モデルの完全修飾子

(非公開)

- データ受信のための送受信モデル

jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.spreadsheet.GenericWorkbook

(APIドキュメント - GenericWorkbook)

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATED ワークブックが作成された。

DATA_UPDATED ワークブックが更新された。

DATA_DELETED ワークブックが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_UPDATED/ DATA_DELETED		説明
		DATA_CREATED	DATA_DELETED	
workbookId	GenericWorkbook# getWorkbookId ()	○	○	ワークブックID
knowledgeGroupId	GenericWorkbook# getKnowledgeGroupId ()	○	○	ナレッジグループID
status	GenericWorkbook# getStatus ()	○	○	ステータス
workbookName	GenericWorkbook# getWorkbookName ()	○	○	ワークブック名
description	GenericWorkbook# getDescription ()	○	○	説明
comment	GenericWorkbook# getComment ()	○	○	コメント
contents	GenericWorkbook# getContents ()	○	○	コンテンツ
thumbnail	GenericWorkbook# getThumbnail ()	○	○	サムネイル
path	GenericWorkbook# getPath ()	○	○	ワークブックパス
publicPath	GenericWorkbook# getPublicPath ()	-	○	公開ワークブックパス
tags	GenericWorkbook# getTags ()	○	○	タグ
createUserCd	GenericWorkbook# getCreateUserCd ()	○	○	登録ユーザコード
createUserName	GenericWorkbook# getCreateUserName ()	○	○	登録ユーザ名
createDate	GenericWorkbook# getCreateDate ()	○	○	登録日時
recordUserCd	GenericWorkbook# getRecordUserCd ()	○	○	更新ユーザコード

プロパティ	参照元	DATA_UPDATED/		説明
		DATA_CREATED	DATA_DELETED	
recordUserName	GenericWorkbook# getRecordUserName ()	○	○	更新ユーザ名
recordDate	GenericWorkbook# getRecordDate ()	○	○	更新日時

IM-LogicDesigner

IM-LogicDesigner に関する情報についての送信側設定一覧です。

フロー定義情報

- 概要

フロー定義情報の作成・更新・削除が完了したことを通知します。

- 導入バージョン

2021 Winter(Dandelion)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.logic.flow.LogicFlowDefinition`
([APIドキュメント - LogicFlowDefinition](#))

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.logic.GenericLogicFlowDefinition`
([APIドキュメント - GenericLogicFlowDefinition](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATED	フロー定義情報が作成された。フロー定義の新しいバージョンが追加された。
DATA_UPDATED	フロー定義情報が更新された。
DATA_DELETED	フロー定義情報が削除された。フロー定義のバージョンが削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/		説明
		DATA_UPDATED	DATA_DELETED	
flowId	GenericLogicFlowDefinition# getFlowId ()	○	○	フローID
version	GenericLogicFlowDefinition# getVersion ()	○	- (バージョン削除の場合、○)	バージョン番号
categoryId	GenericLogicFlowDefinition# getCategoryId ()	○	-	カテゴリID
flowName	GenericLogicFlowDefinition# getFlowName ()	○	-	フロー名
localize	GenericLogicFlowDefinition# getLocalize ()	○	-	多言語情報
notes	GenericLogicFlowDefinition# getNotes ()	○	-	備考

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
transaction	GenericLogicFlowDefinition# isTransaction ()	○	-	トランザクションを使用する
validateRepositoryData	GenericLogicFlowDefinition# isValidateRepositoryData ()	○	-	フロー開始時に Repository 定義の入力 値を検証する
mappingOrder	GenericLogicFlowDefinition# getMappingOrder ()	○	-	マッピング 順序
constants	GenericLogicFlowDefinition# getConstants ()	○	-	定数定義情報
variablesDataDefinition	GenericLogicFlowDefinition# getVariablesDataDefinition ()	○	-	変数定義情報
flowElements	GenericLogicFlowDefinition# getFlowElements ()	○	-	タスク情報
inputDataDefinition	GenericLogicFlowDefinition# getInputDataDefinition ()	○	-	入力定義情報
outputDataDefinition	GenericLogicFlowDefinition# getOutputDataDefinition ()	○	-	出力定義情報
additional	GenericLogicFlowDefinition# getAdditional ()	○	-	追加情報
locale	GenericLogicFlowDefinitionLocalize# getLocale ()	○	-	ロケール
flowName	GenericLogicFlowDefinitionLocalize# getFlowName ()	○	-	フロー名
data	GenericLogicFlowConstants# getData ()	○	-	定数値
dataDefinition	GenericLogicFlowConstants# getDataDefinition ()	○	-	データ定義 情報
description	GenericLogicFlowConstants# getDescription ()	○	-	定数の説明
common	GenericLogicFlowConstants# getCommon ()	○	-	共通定数
entrypoint	GenericDataDefinition# getEntrypoint ()	○	-	エントリー ポイント
typeDefinitions	GenericDataDefinition# getTypeDefinitions ()	○	-	型情報
typeld	GenericEntrypoint# getTypeld ()	○	-	タイプID
listingType	GenericEntrypoint# getListingType ()	○	-	配列種別
basicType	GenericEntrypoint# isBasicType ()	○	-	基本型かどうか

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
required	GenericEntrypoint# isRequired ()	○	-	必須かどうか
id	GenericTypeDefinition# getId ()	○	-	タイプID
type	GenericTypeDefinition# getType ()	○	-	実際の型
properties	GenericTypeDefinition# getProperties ()	○	-	プロパティ 情報
typeld	GenericPropertyDefinition# getTypeld ()	○	-	タイプID
listingType	GenericPropertyDefinition# getListingType ()	○	-	配列種別
basicType	GenericPropertyDefinition# isBasicType ()	○	-	基本型か どうか
required	GenericPropertyDefinition# isRequired ()	○	-	必須かど うか
name	GenericPropertyDefinition# getName ()	○	-	プロパティ 名
description	GenericPropertyDefinition# getDescription ()	○	-	プロパティ の説明
executeld	GenericLogicFlowElementDefinition# getExecuteld ()	○	-	タスクID
alias	GenericLogicFlowElementDefinition# getAlias ()	○	-	エイリアス
elementType	GenericLogicFlowElementDefinition# getElementType ()	○	-	エレメント 種別
elementId	GenericLogicFlowElementDefinition# getElementId ()	○	-	エレメント ID
userDefinitionId	GenericLogicFlowElementDefinition# getUserDefinitionId ()	○ (ユーザ定義タ スクの場合)	-	ユーザ定義 ID
userDefinitionVersion	GenericLogicFlowElementDefinition# getUserDefinitionVersion ()	○ (ユーザ定義タ スクの場合)	-	ユーザ定義 のバージョ ン
label	GenericLogicFlowElementDefinition# getLabel ()	○	-	ラベル
comment	GenericLogicFlowElementDefinition# getComment ()	○	-	コメント
properties	GenericLogicFlowElementDefinition# getProperties ()	○	-	プロパティ 情報

フロールーティング定義情報

■ 概要

フロールーティング定義情報の作成・更新・削除が完了したことを通知します。

- 導入バージョン

2021 Winter(Dandelion)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.logic.rest.model.FlowRoute`
 ([APIドキュメント - FlowRoute](#))

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.logic.GenericFlowRoute`
 ([APIドキュメント - GenericFlowRoute](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATED	フロールーティング定義情報が作成された。
DATA_UPDATED	フロールーティング定義情報が更新された。
DATA_DELETED	フロールーティング定義情報が削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
route	GenericFlowRoute# getRoute ()	○	○	ルート
method	GenericFlowRoute# getMethod ()	○	○	HTTPメソッド
flowId	GenericFlowRoute# getFlowId ()	○	-	フロー定義ID
version	GenericFlowRoute# getVersion ()	○	-	フロー定義のバージョン
authentication	GenericFlowRoute# getAuthentication ()	○	-	認証方法
authenticationParam	GenericFlowRoute# getAuthenticationParam ()	○	-	認証パラメータ
authzUri	GenericFlowRoute# getAuthzUri ()	○	-	認可URI
secured	GenericFlowRoute# isSecured ()	○	-	セキュアトークンを利用するかどうか
responseType	GenericFlowRoute# getResponseTypes ()	○	-	レスポンス種別
responseHeader	GenericFlowRoute# getResponseHeader ()	○	-	レスポンスヘッダ

トリガ定義情報

- 概要

トリガ定義情報の作成・更新・削除が完了したことを通知します。

- 導入バージョン

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.logic.trigger.LogicFlowTrigger`
([APIドキュメント - LogicFlowTrigger](#))

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.logic.GenericLogicFlowTrigger`
([APIドキュメント - GenericLogicFlowTrigger](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATED	トリガ定義情報が作成された。
DATA_UPDATED	トリガ定義情報が更新された。
DATA_DELETED	トリガ定義情報が削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
triggerId	GenericLogicFlowTrigger# getTriggerId ()	○	○	トリガID
triggerName	GenericLogicFlowTrigger# getTriggerName ()	○	-	トリガ名
eventId	GenericLogicFlowTrigger# getEventId ()	○	-	イベントID
flowId	GenericLogicFlowTrigger# getFlowId ()	○	-	フロー定義ID
flowVersion	GenericLogicFlowTrigger# getFlowVersion ()	○	-	フロー定義のバージョン
enabled	GenericLogicFlowTrigger# isEnabled ()	○	-	有効/無効
localizes	GenericLogicFlowTrigger# getLocalizes ()	○	-	多言語情報
additional	GenericLogicFlowTrigger# getAdditional ()	○	-	追加情報
locale	GenericLogicFlowTriggerLocalize# getLocale ()	○	-	ロケール
triggerName	GenericLogicFlowTriggerLocalize# getTriggerName ()	○	-	トリガ名

ViewCreator

ViewCreator に関する情報についての送信側設定一覧です。

クエリ定義情報

- 概要

クエリ定義情報の作成・更新・削除が完了したことを通知します。

- 導入バージョン

2021 Winter(Dandelion)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.viewcreator.model.VCQuery`

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.viewcreator.query.GenericQuery`
 ([APIドキュメント - GenericQuery](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATED	クエリ定義情報が作成された。
DATA_UPDATED	クエリ定義情報が更新された。
DATA_DELETED	クエリ定義情報が削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
category	GenericQuery# getCategory ()	○	-	カテゴリ [26]
code	GenericQuery# getCode ()	○	○	クエリコード
columns	GenericQuery# getColumns ()	○	-	カラム一覧 [27]
conditions	GenericQuery# getConditions ()	○	-	抽出条件一覧 [28]
conditionwhere	GenericQuery# getConditionwhere ()	○	-	WHERE句
dataSource	GenericQuery# getDataSource ()	○	-	データソース
directwhere	GenericQuery# isDirectwhere ()	○	-	WHERE句直接入力フラグ
info	GenericQuery# getInfo ()	○	-	説明
lines	GenericQuery# getLines ()	○	-	結合線一覧 [29]
name	GenericQuery# getName ()	○	-	クエリ名
orsearch	GenericQuery# isOrsearch ()	○	-	OR検索フラグ
tables	GenericQuery# getTables ()	○	-	テーブル一覧 [30]

補足説明

[26] 送受信モデルの「category」は、GenericQueryCategory型です。

([APIドキュメント - GenericQueryCategory](#))

[27] 送受信モデルの「columns」は、List<GenericColumn>型です。

([APIドキュメント - GenericColumn](#))

[28] 送受信モデルの「conditions」は、List<GenericCondition>型です。

([APIドキュメント - GenericCondition](#))

[29] 送受信モデルの「lines」は、List<GenericLine>型です。

([APIドキュメント - GenericLine](#))

[30] 送受信モデルの「tables」は、List<GenericTable>型です。

([APIドキュメント - GenericTable](#))

データ参照定義情報

- 概要

データ参照定義情報の作成・更新・削除が完了したことを通知します。

- 導入バージョン

2021 Winter(Dandelion)

- 独自モデルの完全修飾子

```
jp.co.intra_mart.foundation.viewcreator.model.DataView
jp.co.intra_mart.foundation.viewcreator.model.ListDataView
jp.co.intra_mart.foundation.viewcreator.model.SummaryDataView
jp.co.intra_mart.foundation.viewcreator.model.CrossDataView
jp.co.intra_mart.foundation.viewcreator.model.GraphDataView
```

- データ受信のための送受信モデル

```
jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.viewcreator.dataview.GenericDataView
```

([APIドキュメント - GenericDataView](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATED データ参照定義情報が作成された。

DATA_UPDATED データ参照定義情報が更新された。

DATA_DELETED データ参照定義情報が削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
accessType	GenericDataView# getAccessType ()	○	-	アクセス種別
applicableCsvTimezone	GenericDataView# getApplicableCsvTimezone ()	○	-	CSV出力用タイムゾーン

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
applicableDspTimezone	GenericDataView# getApplicableDspTimezone ()	○	-	画面表示用タイムゾーン
border	GenericDataView# isBorder ()	○	-	ボーダー表示フラグ
category	GenericDataView# getCategory ()	○	-	カテゴリ [31]
code	GenericDataView# getCode ()	○	○	データ参照コード
crossParameters	GenericDataView# getCrossParameters ()	※ [37]	-	クロス集計固有パラメータ [32]
defaultFooter	GenericDataView# getDefaultFooter ()	○	-	デフォルトフッタ
defaultHeader	GenericDataView# getDefaultHeader ()	○	-	デフォルトヘッダ
defaultName	GenericDataView# getDefaultName ()	○	-	デフォルトデータ参照名
defaultRichFooter	GenericDataView# getDefaultRichFooter ()	○	-	デフォルト装飾付きフッタ
defaultRichHeader	GenericDataView# getDefaultRichHeader ()	○	-	デフォルト装飾付きヘッダ
displayAreaWidth	GenericDataView# getDisplayAreaWidth ()	○	-	データ参照全体の表示幅
displayTimezoneMenu	GenericDataView# isDisplayTimezoneMenu ()	○	-	データ一覧画面のタイムゾーン表示

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
export	GenericDataView# isExport ()	○	-	エクスポート 利用フ ラグ
footer	GenericDataView# getFooter ()	○	-	フッタ
graphParameters	GenericDataView# getGraphParameters ()	※ [38]	-	グラフ 集計 固 有パラ メータ [33]
header	GenericDataView# getHeader ()	○	-	ヘッダ
headerWordBreakAll	GenericDataView# isHeaderWordBreakAll ()	○	-	ヘッダ 列の折 り返し 表示フ ラグ
info	GenericDataView# getInfo ()	○	-	データ 参照説 明
lineBackColor	GenericDataView# getLineBackColor ()	○	-	1行おき の色
lineCount	GenericDataView# getLineCount ()	○	-	1ページ に表示 する行 数
listParameters	GenericDataView# getListParameters ()	※ [39]	-	リスト 集計・ サマリ 集計 固 有パラ メータ [34]
localeInfo	GenericDataView# getLocaleInfo ()	○	-	国際化 情報 [35]
name	GenericDataView# getName ()	○	-	データ 参照名
pattern	GenericDataView# getPattern ()	○	-	データ 参照パ ターン
programPath	GenericDataView# getProgramPath ()	○	-	連携す るプロ グラム のパス

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
queryCode	GenericDataView# getQueryCode ()	○	-	利用ク エリ コード
richFooter	GenericDataView# getRichFooter ()	○	-	装飾付 きフッ タ
richHeader	GenericDataView# getRichHeader ()	○	-	装飾付 きヘッ ダ
summaryParameters	GenericDataView# getSummaryParameters ()	※ [40]	-	サマリ 集計 固 有パラ メータ [36]

補足説明

- [31] 送受信モデルの「category」は、GenericDataViewCategory型です。
([APIドキュメント - GenericDataViewCategory](#))
- [32] 送受信モデルの「crossParameters」は、GenericParameters4CrossDataView型です。
([APIドキュメント - GenericParameters4CrossDataView](#))
- [33] 送受信モデルの「graphParameters」は、GenericParameters4GraphDataView型です。
([APIドキュメント - GenericParameters4GraphDataView](#))
- [34] 送受信モデルの「listParameters」は、GenericParameters4ListDataView型です。
([APIドキュメント - GenericParameters4ListDataView](#))
- [35] 送受信モデルの「localeInfo」は、Map<Locale, GenericDataViewLocale>型で、key に備考のロケールが格納され、value に GenericDataViewLocale 型のデータが格納されます。
([APIドキュメント - GenericDataViewLocale](#))
- [36] 送受信モデルの「summaryParameters」は、GenericParameters4SummaryDataView型です。
([APIドキュメント - GenericParameters4SummaryDataView](#))
- [37] 独自モデルが `jp.co.intra_mart.foundation.viewcreator.model.CrossDataView` の場合のみ伝搬されます。
- [38] 独自モデルが `jp.co.intra_mart.foundation.viewcreator.model.GraphDataView` の場合のみ伝搬されます。
- [39] 独自モデルが `jp.co.intra_mart.foundation.viewcreator.model.ListDataView` または `jp.co.intra_mart.foundation.viewcreator.model.SummaryDataView` の場合のみ伝搬されます。
- [40] 独自モデルが `jp.co.intra_mart.foundation.viewcreator.model.SummaryDataView` の場合のみ伝搬されません。

クエリのルーティング定義情報

- 概要

クエリのルーティング定義情報の作成・更新・削除が完了したことを通知します。

- 導入バージョン

2021 Winter(Dandelion)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.viewcreator.router.model.QueryRoute`

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.viewcreator.router.GenericQueryRoute`
 ([APIドキュメント - GenericQueryRoute](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATED	クエリのルーティング定義情報が作成された。
DATA_UPDATED	クエリのルーティング定義情報が更新された。
DATA_DELETED	クエリのルーティング定義情報が削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
authentication	GenericQueryRoute# getAuthentication ()	○	-	認証方法
authenticationParam	GenericQueryRoute# getAuthenticationParam ()	○	-	認証方法パラメータ
categoryId	GenericQueryRoute# getCategoryId ()	○	-	カテゴリID
localeNote	GenericQueryRoute# getLocaleNote ()	○	-	備考・多言語配列 [41]
localeRouteName	GenericQueryRoute# getLocaleRouteName ()	○	-	ルーティング名・多言語配列 [42]
method	GenericQueryRoute# getMethod ()	○	-	メソッド
note	GenericQueryRoute# getNote ()	○	-	備考
queryCd	GenericQueryRoute# getQueryCd ()	○	-	クエリコード
resourceUri	GenericQueryRoute# getResourceUri ()	○	-	認可URI
responseType	GenericQueryRoute# getResponseType ()	○	-	レスポンス種別
route	GenericQueryRoute# getRoute ()	○	-	ルーティング
routeId	GenericQueryRoute# getRouteId ()	○	○	ルーティングID
routeName	GenericQueryRoute# getRouteName ()	○	-	ルーティング名

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED	DATA_DELETED	説明
sortNumber	GenericQueryRoute# getSortNumber ()	○	-	ソート番号

補足説明

- [41] 送受信モデルの「localeNote」は、Map<Locale, String>型で、key に備考のロケールが格納され、value にロケールに紐づく備考が格納されます。
- [42] 送受信モデルの「localeRouteName」は、Map<Locale, String>型で、key にルーティング名のロケールが格納され、value にロケールに紐づくルーティング名が格納されます。

IM-Repository

IM-Repository に関する情報についての送信側設定一覧です。

辞書項目情報

- 概要

辞書項目情報の作成・更新・削除が完了したことを通知します。

- 導入バージョン

2022 Winter(Freesia)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.repository.GenericItem`
(データ受信のための送受信モデルと同じ)

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.repository.GenericItem`
(APIドキュメント - GenericItem)

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATED	辞書項目情報が作成された。
DATA_UPDATED	辞書項目情報が更新された。
DATA_DELETED	辞書項目情報が削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETED	説明
itemId	GenericItem# getItemId ()	○	項目ID
categoryId	GenericItem# getCategoryId ()	○	カテゴリID
name	GenericItem# getName ()	○	項目名 (標準)

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETED	説明
description	GenericItem# getDescription ()	○	説明 (標準)
localize	GenericItem# getLocalize ()	○	多言語情報 [43]
enabled	GenericItem# isEnabled ()	○	有効状態
usages	GenericItem# getUsages ()	○	用途 [44]
sortNumber	GenericItem# getSortNumber ()	○	ソート番号
enumerationId	GenericItem# getEnumerationId ()	○	列挙ID
initialValueSeed	GenericItem# getInitialValueSeed ()	○	初期値
reserved	GenericItem# isReserved ()	○	予約状態
historyNumber	GenericItem# getHistoryNumber ()	○	履歴番号
locale	GenericLocalize# getLocale ()	○	ロケール
name	GenericLocalize# getName ()	○	項目名
description	GenericLocalize# getDescription ()	○	説明
usageld	GenericUsage# getUsageld ()	○	用途ID
name	GenericUsage# getName ()	○	用途名
usageData	GenericUsage# getUsageData ()	○	用途情報
scriptPathList	GenericUsage# getScriptPathList ()	○	用途の画面を表示するために必要な JavaScriptのパス

補足説明

[43] 送受信モデルの「localize」は、Map<Locale, GenericLocalize>型で、key に備考のロケールが格納され、value にロケールに紐づく項目名・説明が格納されます。
([APIドキュメント - GenericLocalize](#))

[44] 送受信モデルの「usages」は、List<GenericUsage>型です。
([APIドキュメント - GenericUsage](#))

エリアス情報

- 概要

- 導入バージョン

2022 Winter(Freesia)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.repository.GenericAlias`
 (データ受信のための送受信モデルと同じ)

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.repository.GenericAlias`
 ([APIドキュメント - GenericAlias](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATED	エイリアス情報が作成された。
DATA_UPDATED	エイリアス情報が更新された。
DATA_DELETED	エイリアス情報が削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETED	説明
aliasId	GenericAlias# getAliasId ()	○	エイリアスID
categoryId	GenericAlias# getCategoryId ()	○	カテゴリID
referenceItemId	GenericAlias# getReferenceItemId ()	○	参照項目ID
name	GenericAlias# getName ()	○	エイリアス名 (標準)
description	GenericAlias# getDescription ()	○	説明 (標準)
localize	GenericAlias# getLocalize ()	○	多言語情報 [45]
enabled	GenericAlias# isEnabled ()	○	有効状態
usages	GenericAlias# getUsages ()	○	用途 [46]
sortNumber	GenericAlias# getSortNumber ()	○	ソート番号
initialValueSeed	GenericAlias# getInitialValueSeed ()	○	初期値
reserved	GenericAlias# isReserved ()	○	予約状態
historyNumber	GenericAlias# getHistoryNumber ()	○	履歴番号

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETED	説明
locale	GenericLocalize# getLocale ()	○	ロケール
name	GenericLocalize# getName ()	○	エイリアス名
description	GenericLocalize# getDescription ()	○	説明
usageld	GenericUsage# getUsageld ()	○	用途ID
name	GenericUsage# getName ()	○	用途名
usageData	GenericUsage# getUsageData ()	○	用途情報
scriptPathList	GenericUsage# getScriptPathList ()	○	用途の画面を表示するために必要な JavaScriptのパス

補足説明

[45] 送受信モデルの「localize」は、Map<Locale, GenericLocalize>型で、key に備考のロケールが格納され、value にロケールに紐づくエイリアス名・説明が格納されます。
([APIドキュメント - GenericLocalize](#))

[46] 送受信モデルの「usages」は、List<GenericUsage>型です。
([APIドキュメント - GenericUsage](#))

列挙型情報

- 概要

列挙型情報の作成・更新・削除が完了したことを通知します。

- 導入バージョン

2022 Winter(Freesia)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.repository.GenericEnumeration`
(データ受信のための送受信モデルと同じ)

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.repository.GenericEnumeration`
([APIドキュメント - GenericEnumeration](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別	データ送信のタイミング
DATA_CREATED	列挙型情報が作成された。
DATA_UPDATED	列挙型情報が更新された。
DATA_DELETED	列挙型情報が削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETED	説明
enumerationId	GenericEnumeration# getEnumerationId ()	○	列挙ID
categoryId	GenericEnumeration# getCategoryId ()	○	カテゴリID
name	GenericEnumeration# getName ()	○	列挙名 (標準)
description	GenericEnumeration# getDescription ()	○	説明 (標準)
localize	GenericEnumeration# getLocalize ()	○	多言語情報 [47]
enabled	GenericEnumeration# isEnabled ()	○	有効状態
enumerationItems	GenericEnumeration# getEnumerationItems ()	○	列挙項目 [48]
sortNumber	GenericEnumeration# getSortNumber ()	○	ソート番号
enumerationItemValue	GenericEnumerationItem# getEnumerationItemValue ()	○	列挙項目値
localizeItemLabel	GenericEnumerationItem# getLocalizeItemLabel ()	○	多言語列挙項目ラベル [49]
sortNumber	GenericEnumerationItem# getSortNumber ()	○	ソート番号
locale	GenericLocalize# getLocale ()	○	ロケール
name	GenericLocalize# getName ()	○	列挙名
description	GenericLocalize# getDescription ()	○	説明
locale	GenericEnumerationLocalizeItemLabel# getLocale ()	○	ロケール
label	GenericEnumerationLocalizeItemLabel# getLabel ()	○	ラベル

補足説明

[47] 送受信モデルの「localize」は、Map<Locale, GenericLocalize>型で、key に備考のロケールが格納され、value にロケールに紐づく列挙名・説明が格納されます。
([APIドキュメント - GenericLocalize](#))

[48] 送受信モデルの「enumerationItems」は、List<GenericEnumerationItem>型です。
([APIドキュメント - GenericEnumerationItem](#))

[49] 送受信モデルの「localizeItemLabel」は、Map<Locale, GenericLocalize>型で、key に備考のロケールが格納され、value にロケールに紐づくラベルが格納されます。
([APIドキュメント - GenericEnumerationLocalizeItemLabel](#))

エンティティ情報

■ 概要

エンティティ情報の作成・更新・削除が完了したことを通知します。

■ 導入バージョン

2022 Winter(Freesia)

■ 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.repository.GenericEntity`

(データ受信のための送受信モデルと同じ)

■ データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.repository.GenericEntity`

(APIドキュメント - [GenericEntity](#))

■ データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATED エンティティ情報が作成された。

DATA_UPDATED エンティティ情報が更新された。

DATA_DELETED エンティティ情報が削除された。

■ 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETED	説明
entityId	GenericEntity# getEntityId ()	○	エンティティID
categoryId	GenericEntity# getCategoryId ()	○	カテゴリID
name	GenericEntity# getName ()	○	エンティティ名 (標準)
description	GenericEntity# getDescription ()	○	説明 (標準)
localize	GenericEntity# getLocalize ()	○	多言語情報 [50]
enabled	GenericEntity# isEnabled ()	○	有効状態
entityItems	GenericEntity# getEntityItems ()	○	エンティティ項目 [51]
sortNumber	GenericEntity# getSortNumber ()	○	ソート番号
reserved	GenericEntity# isReserved ()	○	予約状態
historyNumber	GenericEntity# getHistoryNumber ()	○	履歴番号
entryId	GenericEntityItem# getEntryId ()	○	エンティティ項目のID

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETED	説明
entryType	GenericEntityItem# getEntryType ()	○	エンティティ項目の種別
primaryKey	GenericEntityItem# isPrimaryKey ()	○	主キー
required	GenericEntityItem# isRequired ()	○	必須
array	GenericEntityItem# isArray ()	○	配列
relationId	GenericEntityItem# getRelationId ()	○	関連ID
variableName	GenericEntityItem# getVariableName ()	○	変数名
sortNumber	GenericEntityItem# getSortNumber ()	○	ソート番号
locale	GenericLocalize# getLocale ()	○	ロケール
name	GenericLocalize# getName ()	○	エンティティ名
description	GenericLocalize# getDescription ()	○	説明

補足説明

[50] 送受信モデルの「localize」は、Map<Locale, GenericLocalize>型で、key に備考のロケールが格納され、value にロケールに紐づくエンティティ名・説明が格納されます。

([APIドキュメント - GenericLocalize](#))

[51] 送受信モデルの「entityItems」は、List<GenericEntityItem>型です。

([APIドキュメント - GenericEntityItem](#))

エンティティ 関連情報

- 概要

エンティティの関連情報の作成・更新・削除が完了したことを通知します。

- 導入バージョン

2022 Winter(Freesia)

- 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.repository.GenericRelation`
(データ受信のための送受信モデルと同じ)

- データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.repository.GenericRelation`
([APIドキュメント - GenericRelation](#))

- データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATED エンティティの関連情報が作成された。

DATA_UPDATED エンティティの関連情報が更新された。

DATA_DELETED エンティティの関連情報が削除された。

- 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETED	説明
relationId	GenericRelation# getRelationId ()	○	関連ID
targetEntityId	GenericRelation# getTargetEntityId ()	○	関連元エンティティID
sourceEntityId	GenericRelation# getSourceEntityId ()	○	関連先エンティティID
multiplicity	GenericRelation# getMultiplicity ()	○	多重度 [52]
comment	GenericRelation# getComment ()	○	コメント
items	GenericRelation# getItems ()	○	関連項目 [53]
sortNumber	GenericRelation# getSortNumber ()	○	ソート番号
historyNumber	GenericRelation# getHistoryNumber ()	○	履歴番号
sourceId	GenericRelationItem# getSourceId ()	○	関連元エンティティ項目ID
sourceType	GenericRelationItem# getSourceType ()	○	関連元エンティティ項目種別
targetId	GenericRelationItem# getTargetId ()	○	関連先エンティティ項目ID
targetType	GenericRelationItem# getTargetType ()	○	関連先エンティティ項目種別
sortNumber	GenericRelationItem# getSortNumber ()	○	ソート番号

補足説明

[52] 送受信モデルの「multiplicity」は、GenericMultiplicity型です。
(APIドキュメント - GenericMultiplicity)

[53] 送受信モデルの「items」は、List<GenericRelationItem>型です。
(APIドキュメント - GenericRelationItem)

エンティティ テーブル定義情報

- 概要

■ 導入バージョン

2022 Winter(Freesia)

■ 独自モデルの完全修飾子

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.repository.GenericTableDefinition`
 (データ受信のための送受信モデルと同じ)

■ データ受信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.repository.GenericTableDefinition`
 ([APIドキュメント - GenericTableDefinition](#))

■ データの操作種別とデータ送信のタイミング

データの操作種別 データ送信のタイミング

DATA_CREATED エンティティのテーブル定義情報が作成された。

DATA_UPDATED エンティティのテーブル定義情報が更新された。

DATA_DELETED エンティティのテーブル定義情報が削除された。

■ 送受信モデルと参照元、および、データの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETED/	説明
entityId	GenericTableDefinition# getEntityId ()	○	エンティティID
databaseKind	GenericTableDefinition# getDatabaseKind ()	○	データベース種別 [54]
connectionId	GenericTableDefinition# getConnectionId ()	○	コネクションID
tableName	GenericTableDefinition# getTableName ()	○	テーブル名
historyNumber	GenericTableDefinition# getHistoryNumber ()	○	履歴番号
searchDefinitions	GenericTableDefinition# getSearchDefinitions ()	○	検索条件情報 [55]
targetId	GenericEntitySearchDefinition# getTargetId ()	○	検索対象の項目ID
targetType	GenericEntitySearchDefinition# getTargetType ()	○	検索対象の項目種別
searchType	GenericEntitySearchDefinition# getSearchType ()	○	検索種別
sortNumber	GenericEntitySearchDefinition# getSortNumber ()	○	ソート番号
enableChangeLog	GenericTableDefinition# isEnabledChangeLog ()	○	データ変更履歴の取得が有効かどうか [56]

プロパティ	参照元	DATA_CREATED/ DATA_UPDATED/ DATA_DELETED/	説明
optimisticLockId	GenericTableDefinition# getOptimisticLockId ()	○	楽観的排他制御 で使用する項目 ID [62]
optimisticLockType	GenericTableDefinition# getOptimisticLockType ()	○	楽観的排他制御 で使用する項目 種別 [62]
disableAutoNumbering	GenericTableDefinition# isDisableAutoNumbering ()	○	楽観的排他制御 時の自動採番が 無効かどうか [62]
externalReferenceDefinitions	GenericTableDefinition# getExternalReferenceDefinitions ()	○	外部参照情報 [57]
referenceType	GenericExternalReferenceDefinition# getReferenceType ()	○	参照種別
referenceEntry	GenericExternalReferenceDefinition# getReferenceEntry ()	○	参照先 [58]
items	GenericExternalReferenceDefinition# getItems ()	○	参照情報 [59]
entryId	GenericExternalItem# getEntryId ()	○	項目ID
entryType	GenericExternalItem# getEntryType ()	○	項目種別
referenceEntryItem	GenericExternalItem# getReferenceEntryItem ()	○	参照先項目情報 [61]
sortNumber	GenericExternalItem# getSortNumber ()	○	ソート番号
filters	GenericExternalReferenceDefinition# getFilters ()	○	絞り込み情報 [60]
filterType	GenericExternalFilter# getFilterType ()	○	絞り込み種別
valueType	GenericExternalFilter# getValueType ()	○	絞り込み値解決 種別
referenceEntryItem	GenericExternalFilter# getReferenceEntryItem ()	○	参照先項目情報 [61]
valueSource	GenericExternalFilter# getValueSource ()	○	絞り込み値の値 表現
entryId	GenericExternalFilter# getEntryId ()	○	項目ID
entryType	GenericExternalFilter# getEntryType ()	○	項目種別
sortNumber	GenericExternalFilter# getSortNumber ()	○	ソート番号
sortNumber	GenericExternalReferenceDefinition# getSortNumber ()	○	ソート番号

- [54] 送受信モデルの「databaseKind」は、GenericDatabaseKind型です。
([APIドキュメント - GenericDatabaseKind](#))
- [55] 送受信モデルの「searchDefinitions」は、List<GenericEntitySearchDefinition>型です。
([APIドキュメント - GenericEntitySearchDefinition](#))
- [56] 送受信モデルの「enableChangeLog」は、2023 Spring(Gerbera)以降で利用可能です。
- [57] 送受信モデルの「externalReferenceDefinitions」は、2023 Autumn(Hollyhock)以降で利用可能です。
送受信モデルの「externalReferenceDefinitions」は、List<GenericExternalReferenceDefinition>型です。
([APIドキュメント - GenericExternalReferenceDefinition](#))
- [58] 参照種別が *ENTITY* の場合は、キー *entityId* に参照先エンティティが設定されます。
参照種別が *TABLE* の場合は、キー *tableName* に参照先テーブル名が設定されます。
- [59] 送受信モデルの「items」は、List<GenericExternalItem>型です。
([APIドキュメント - GenericExternalItem](#))
- [60] 送受信モデルの「filters」は、List<GenericExternalFilter>型です。
([APIドキュメント - GenericExternalFilter](#))
- [61] (1, 2)
- 参照種別が *ENTITY* の場合は、キー *entryId* に参照先項目ID が、キー *entryType* に参照先種別が設定されます。
参照種別が *TABLE* の場合は、キー *columnName* に参照先カラム名が設定されます。
- [62] (1, 2, 3)
- 送受信モデルの「optimisticLockId」・「optimisticLockType」は、2025 Spring(Kamille)以降で利用可能です。

intra-mart Accel Platformが標準で提供している受信側の一覧と、その利用方法について説明します。

項目

- [受信側一覧の利用方法](#)
 - [データの送り方](#)
 - [受信側一覧の参照方法](#)
- [受信側一覧](#)
 - [IMBox](#)
 - [アプリケーション通知（スレッド単位）](#)
 - [アプリケーション通知（メッセージ単位）](#)
 - [Watch通知（スレッド単位）](#)
 - [Watch通知（メッセージ単位）](#)
 - [ウォッチ](#)
 - [ウォッチ解除](#)

受信側一覧の利用方法

この章では、受信側一覧を利用した連携機能の作成例と、一覧の参照方法について説明します。

データの送り方

データを送る場合の手順は以下の通りです。

一例として、IMBox の ApplicationBox を利用して、特定のユーザへメッセージを送信する方法を説明します。

1. データを送りたい宛先を一覧からピックアップする

始めに、「[受信側一覧](#)」から送りたいデータの項を参照して、以下の情報を取得してください。

以下に、ApplicationBox を利用して watch ユーザ宛てにメッセージを送りたい場合の各項目値を例示します。

- データ送信のための送受信モデル

例) `jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.GenericAccount`

- 処理内容に合致する データの操作種別

例) `SEND_WATCH_MESSAGE`（メッセージ単位の watch 通知を送信する）

- 送受信モデルとデータの操作種別とのマッピングテーブル

例) 詳細は、「[Watch通知（メッセージ単位）](#)」を参照してください。

一覧項目の詳細は、「[受信側一覧の参照方法](#)」を参照してください。

2. マッピング設定を作成する

次に、一覧の情報をもとにマッピング設定を作成します。

以下に、ApplicationBox を利用して watch ユーザ宛てにメッセージを送りたい場合のマッピング設定を例示します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<propagation-senders-config xmlns="http://www.intra-mart.jp/propagation/senders-config"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://www.intra-mart.jp/propagation/senders-config propagation-senders-config.xsd">
  <sender source="jp.co.intra_mart.sample.model.SampleOriginalModel"
    operationType="SEND_WATCH_MESSAGE">
    <encoder class="jp.co.intra_mart.sample.encoder.SampleWatchMessageEncoder" />
  </sender>
</propagation-senders-config>
```

各タグの設定についての説明は、以下の通りです。

- sender タグ

`source` 属性には、送信用に作成した「独自モデル」の完全修飾子（FQCN）を指定します。

なお、この属性に設定する値は、送り先に関わらず送信側が自由に設定可能です。

詳細は「[IM-Propagation プログラミングガイド](#)」-「[データを送る側の実装](#)」を参照してください。

`operationType` 属性には、一覧の中で「データの操作種別と処理内容」として定義されている表から必要とするものを選択し、指定します。

アプリケーション通知（メッセージ単位）はデータの操作種別として `SEND_WATCH_MESSAGE` のみが定義されていますので、それを指定します。

- encoder タグ

`class` 属性には、「データ変換クラス」の完全修飾子（FQCN）を指定します。

詳細は「[IM-Propagation プログラミングガイド](#)」-「[データを送る側の実装](#)」を参照してください。

受信側一覧の参照方法

受信側に記載されている各項目の詳細は、以下の通りです。

- データ送信のための送受信モデル

受信側が受信したいデータを送信できるようにするための「送受信モデル（Generic）」の完全修飾子（FQCN）を表しています。

詳細は「[IM-Propagation プログラミングガイド](#)」-「[送受信モデル（Generic）を作成する](#)」を参照してください。

- データの操作種別と処理内容

受信側が提供しているデータの操作種別と、その処理内容の紐付けを表しており、マッピング設定で使用します。

詳細は「[IM-Propagation 仕様書](#)」-「[処理仕様](#)」を参照してください。

- 「送受信モデルとデータの操作種別とのマッピングテーブル」の参照方法

項目	詳細								
プロパティ	データ送信のための送受信モデルが持つプロパティ名を表しています。								
データの操作種別	各トリガにて提供されている「データの操作種別」を指定した際の、値を設定することについて必須/任意/入力不可のいずれかを表しています。 詳細は、以下の通りです。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>表記</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>必須</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>任意</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>入力不可 (この表記があるプロパティについては、値の設定を行わないでください。処理実行時にエラーが発生します)</td> </tr> </tbody> </table>	表記	説明	○	必須	-	任意	×	入力不可 (この表記があるプロパティについては、値の設定を行わないでください。処理実行時にエラーが発生します)
表記	説明								
○	必須								
-	任意								
×	入力不可 (この表記があるプロパティについては、値の設定を行わないでください。処理実行時にエラーが発生します)								
説明	送受信モデルのプロパティに格納する値の説明を表しています。								

受信側一覧

IMBox

IMBox が受け付ける処理要求についての受信側設定一覧です。

 コラム

IMBox への実際の送信機能の作成方法の詳細は「[IMBox プログラミングガイド](#)」を参照してください。

アプリケーション通知（スレッド単位）

- 概要

通知メッセージを ApplicationBox へ投稿します。（スレッド形式で表示）

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- データ送信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.imbox.GenericSendNoticeThread`
 ([APIドキュメント - GenericSendNoticeThread](#))

- データの操作種別と処理内容

データの操作種別	処理内容
SEND_NOTICE_THREAD	スレッド単位のアプリケーション通知を送信する。

- 送受信モデルとデータの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	SEND_NOTICE_THREAD	説明
threadId	×	スレッドID
applicationCd	○	通知を行うアプリケーションの識別CD
sendUserCd	○	通知を行うユーザのユーザコード
messageId	×	メッセージID
messageText	○	通知内容
uri	-	投稿URI (通知内容と一緒に uri を表示したい場合に使用)
uriTitle	-	投稿URIタイトル (uri が入力されていない場合入力不可)
uriAttachId	-	URI添付ID (uri が入力されていない場合入力不可)
uriText	-	投稿URI内容 (uri が入力されていない場合入力不可)
uriAttachPath	-	投稿URI添付パス (uri が入力されていない場合入力不可)
messageTypeCd	○	メッセージ種別コード
postTypeCd	×	投稿先種別コード
attributes	-	拡張項目
threadSummarizeCd	○	メッセージをスレッド単位にするための各アプリケーション一意のコード
userCds	○	送信先ユーザコード（複数指定可能）

アプリケーション通知（メッセージ単位）

- 概要

通知メッセージを ApplicationBox へ投稿します。（メッセージ形式で表示）

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- データ送信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.imbox.GenericSendMessage`
 ([APIドキュメント - GenericSendMessage](#))

- データの操作種別と処理内容

データの操作種別	処理内容
SEND_NOTICE_MESSAGE	メッセージ単位のアプリケーション通知を送信する。

- 送受信モデルとデータの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	SEND_NOTICE_MESSAGE	説明
threadId	×	スレッドID
applicationCd	○	通知を行うアプリケーションの識別CD
sendUserCd	○	通知を行うユーザのユーザコード
messageId	×	メッセージID
messageText	○	通知内容
uri	-	投稿URI (通知内容と一緒に uri を表示したい場合に使用)
uriTitle	-	投稿URIタイトル (uri が入力されていない場合入力不可)
uriAttachId	-	URI添付ID (uri が入力されていない場合入力不可)
uriText	-	投稿URI内容 (uri が入力されていない場合入力不可)
uriAttachPath	-	投稿URI添付パス (uri が入力されていない場合入力不可)
messageTypeCd	○	メッセージ種別コード
postTypeCd	×	投稿先種別コード
attributes	-	拡張項目
userCds	○	送信先ユーザコード (複数指定可能)

Watch通知 (スレッド単位)

- 概要

watch ユーザ宛てに ApplicationBox へ投稿します。（スレッド形式で表示）

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- データ送信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.imbox.GenericSendWatchThread`
 ([APIドキュメント - GenericSendWatchThread](#))

- データの操作種別と処理内容

データの操作種別	処理内容
SEND_WATCH_THREAD	スレッド単位のWatch通知を送信する。

- 送受信モデルとデータの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	SEND_WATCH_THREAD	説明
threadId	×	スレッドID
applicationCd	○	ウォッチを行ったアプリケーションの識別CD
sendUserCd	○	通知を行うユーザのユーザコード
messageId	×	メッセージID
messageText	○	通知内容
uri	-	投稿URI (通知内容と一緒に uri を表示したい場合に使用)
uriTitle	-	投稿URIタイトル (uri が入力されていない場合入力不可)
uriAttachId	-	URI添付ID (uri が入力されていない場合入力不可)
uriText	-	投稿URI内容 (uri が入力されていない場合入力不可)
uriAttachPath	-	投稿URI添付パス (uri が入力されていない場合入力不可)
messageTypeCd	○	メッセージ種別コード
postTypeCd	×	投稿先種別コード
attributes	-	拡張項目
threadSummarizeCd	○	メッセージをスレッド単位にするための各アプリケーション一意のコード
targetIds	○	ウォッチ対象の識別CD (数指定可能)

Watch通知 (メッセージ単位)

- 概要

watch ユーザ宛てに ApplicationBox へ投稿します。(メッセージ形式で表示)

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- データ送信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.imbox.GenericSendWatchMessage`
([APIドキュメント - GenericSendWatchMessage](#))

- データの操作種別と処理内容

データの操作種別	処理内容
SEND_WATCH_MESSAGE	メッセージ単位のWatch通知を送信する。

- 送受信モデルとデータの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	SEND_WATCH_MESSAGE	説明
threadId	×	スレッドID
applicationCd	○	ウォッチを行ったアプリケーションの識別CD
sendUserCd	○	通知を行うユーザのユーザコード
messageId	×	メッセージID
messageText	○	通知内容
uri	-	投稿URI (通知内容と一緒に uri を表示したい場合に使用)
uriTitle	-	投稿URIタイトル (uri が入力されていない場合入力不可)
uriAttachId	-	URI添付ID (uri が入力されていない場合入力不可)
uriText	-	投稿URI内容 (uri が入力されていない場合入力不可)
uriAttachPath	-	投稿URI添付パス (uri が入力されていない場合入力不可)
messageTypeCd	○	メッセージ種別コード
postTypeCd	×	投稿先種別コード
attributes	-	拡張項目
targetIds	○	ウォッチ対象の識別CD (複数指定可能)

ウォッチ

- 概要

アプリケーションのウォッチを行います。

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- データ送信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.imbox.GenericWatch`
([APIドキュメント - GenericWatch](#))

- データの操作種別と処理内容

データの操作種別	処理内容
WATCH	ウォッチを行う

- 送受信モデルとデータの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	WATCH	説明
applicationCd	○	ウォッチを行うアプリケーションの識別CD
watchUserCd	-	ウォッチを行うユーザのユーザコード
mapTargets	○	ターゲット情報 [1]

補足情報

[1] 送受信モデルの「mapTargets」は、key にウォッチ対象の識別CD、value にウォッチ対象の識別名を格納します。

(Map<String, String>)

ウォッチ解除

- 概要

アプリケーションのウォッチ解除を行います。

- 導入バージョン

2012 Autumn(Alba)

- データ送信のための送受信モデル

`jp.co.intra_mart.foundation.propagation.model.generic.imbox.GenericUnwatch`

([APIドキュメント - GenericUnwatch](#))

- データの操作種別と処理内容

データの操作種別	処理内容
UNWATCH	ウォッチを解除する

- 送受信モデルとデータの操作種別とのマッピングテーブル

プロパティ	UNWATCH	説明
applicationCd	○	ウォッチ解除を行うアプリケーションの識別CD
unwatchUserCd	-	ウォッチ解除を行うユーザのユーザコード
mapTargets	○	ターゲット情報 [2]

補足情報

[2] 送受信モデルの「mapTargets」は、key にウォッチ解除対象の識別CD、value にウォッチ解除対象の識別名を格納します。

(Map<String, String>)